

遺伝子組換え技術・農作物・食品についての 意識調査報告書

平成 18 年 3 月

社団法人 農林水産先端技術産業振興センター [STAFF]

はじめに

“21世紀はバイオの時代”といわれてきましたが、実際に21世紀に入り6年目を迎えます。1990年代後半に、初めて商業化された遺伝子組換え農作物も、2005年には全世界で21ヶ国、9000万ha栽培されるまでに至っています。遺伝子組換え農作物が、これだけ栽培されるようになった背景には、除草剤耐性や害虫抵抗性など遺伝子組換え農作物に生産者メリットがあったことが大きな要因となっています。

世界各国で急成長している遺伝子組換え農作物の栽培ですが、日本の消費者に遺伝子組換え農作物・食品が受け入れられているとは言えません。これには様々な理由があります。それは、消費者への十分な情報提供がされなかったり、専門家、開発企業や行政と消費者が遺伝子組換え技術・農作物・食品の利用について、十分なコミュニケーションをとることができなかったことなどが原因の1つです。

社団法人農林水産先端技術産業振興センター〔略称：STAFF〕では、農林水産省の委託を受け、遺伝子組換え技術等バイオテクノロジーに対する市民の理解促進を目的とした活動（事業名「みんなで考えるバイオテク推進事業」）を行っています。遺伝子組換え技術のような先端技術の理解を図るためには、市民への継続した情報提供が不可欠です。それと同時に、市民が遺伝子組換え技術等に関して、どのように感じているか、どのような情報を知りたいのかということ进行分析することもまた重要なことです。

今回の、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する消費者意識調査の結果が、遺伝子組換え技術等に対する情報提供を行っている方々に対して、大いに参考になれば幸いです。

社団法人農林水産先端技術産業振興センター

理事長 岩元 睦夫

目次

. 調査概要	3
. 回答者属性	4
. 遺伝子組換えに対する消費者のリスク認知分析	5
. 「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」調査結果	10
. 参考資料		
1) 「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」集計表	31
2) 「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」調査票	41

・調査概要

1. 調査の目的

組換え体の社会的受容を円滑にするために、アンケート調査を主体とした意識調査を、消費者を対象に実施し、社会的受容の状況や組換え体に対する意識の変化、状況について把握する。また、消費者へのより効果的な情報提供とコミュニケーションを行うために、遺伝子組換え食品・農作物に関する消費者のリスク認知構造について分析する。

2. 調査実施期間

平成 17 年 11 月 4 日（金）・5 日（土）

3. 調査対象者

実りのフェスティバル（ 1 ）来場者のうち 500 名（ 2 ）

4. 調査実施の方法

面接法

5. 回答者数

対象者 500 名

有効アンケート回答者数 500 名

アンケート回収率 100%

1：実りのフェスティバル：第 44 回農林水産祭“実りのフェスティバル”平成 17 年 11 月 4 日・5 日に東京国際展示場で開催された。2 日間で延べ約 4 万 6 千人の来場者があり、社団法人農林水産先端技術産業振興センターもブースを出展した。

2：アンケート対象者は幅広い年齢層からの意見を集めるために、年齢層・性別に下表のような定員を設け、アンケートに回答してもらう前に属性を確認して行った。（実際には、アンケート会場での用紙の取り違い等があり若干増減している）

定員

属性	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上
男性	50 名	50 名	50 名	50 名	50 名
女性	50 名	50 名	50 名	50 名	50 名

実際の回収数

属性	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上
男性	49 名	51 名	49 名	49 名	50 名
女性	52 名	48 名	48 名	54 名	50 名

．回答者属性

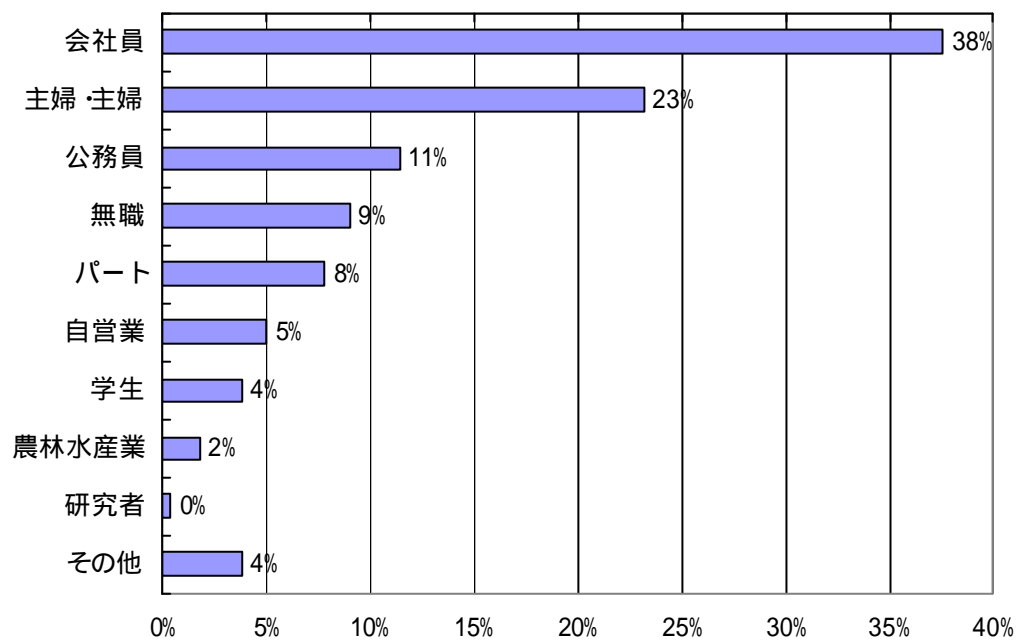
1．性別

性別	男性	女性	不明・無回答
人数(人)	248	252	0
割合(%)	50%	50%	0%

2．年齢

年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明・無回答
人数(人)	101	99	97	103	100	0
割合(%)	20%	20%	19%	21%	20%	0%

3．職業



． 遺伝子組換えに対する消費者のリスク認知分析

1． 目的

遺伝子組換え農作物について効果的なコミュニケーションを図るためには、消費者の遺伝子組換え農作物に対する認識を正確に把握し、コミュニケーションを行うことが重要である。これまで消費者の遺伝子組換え農作物に対する意識動向を調査し続け、それに対してコミュニケーションを行ってきた結果、遺伝子組換え食品に対する消費者の不安感は減少してきている。しかし、消費者が遺伝子組換え農作物に対して安心感を持つためには、消費者が遺伝子組換えに関してどのようなリスク認知をしているのかを把握し、認知しているリスクについて現在どのような対策が行われているのか等を伝えることが必要である。そこで、遺伝子組換え農作物に対する消費者のリスク認知を分析した。

2． 方法と結果

2-1． 分析方法

遺伝子組換えに関連するリスク認知を表す設問として、21 項目の設問(表 1 参照、詳細な質問文は p.41 参照)を設定して調査を行った。設問は全て 5 点評価で行い得られた結果より、因子分析を行った。なお、欠損値のあるデータについては、排除して分析を行った。

表 1． リスク認知を表す設問項目

No.	設問内容
Q19	遺伝子組換え食品の将来的なリスク
Q20	承認されている遺伝子組換え食品に対するリスク
Q21	害虫抵抗性を持たせた遺伝子組換え食品に対するリスク
Q22	組み換えた遺伝子が体内に入り、体内に悪影響を与える可能性認知度
Q23	不安要因情報を得たときの遺伝子組換え食品に対する不安
Q24	安全要因情報を得たときの遺伝子組換え食品に対する不安
Q25	生命倫理的な不安
Q26	身近な人が食べている遺伝子組換え食品を食べることへの不安
Q27	外国人が食べている遺伝子組換え食品を食べることへの不安
Q28	遺伝子組換え農作物の混入可能性の認知度
Q29	表示義務のない食品に対して、企業が表示をしない頻度の認知度
Q30	遺伝子組換え開発企業が種子支配をする可能性認知度
Q31	安全性未承認の遺伝子組換え農作物が混入する可能性認知度
Q32	遺伝子組換え農作物混入時における企業の事実隠蔽の可能性認知度
Q33	遺伝子組換え農作物の危険性が確認されたときの国の情報隠蔽の認知度
Q34	遺伝子組換え農作物の危険性が確認されたときの開発企業の情報隠蔽の認知度
Q35	遺伝子組み換えに関して問題が発生した際に情報を得られに可能性認知度
Q36	遺伝子組み換えに関する情報入手量への満足度
Q37	国内で遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境影響リスク認知
Q38	遺伝子組換え農作物を輸入することによる環境影響リスク認知
Q39	遺伝子組換え農作物を栽培することによる周辺環境リスク認知
Q40	承認されている遺伝子組換え食品に対する不安

2-2 . 設問項目（変数）の確認

得られた調査結果より、各項目の平均値及び標準偏差をチェックし、天井効果¹や床効果¹が見られるかを確認した。その結果、床効果が確認された5つの設問については、分析の対象から除外し、残りの16項目で因子分析を行った。なお、リスクの高さを表現し、分析をしやすくする為に、全ての項目について、5点（危険性・不安が非常に高い）4点（危険性・不安が高い）3点（どちらともいえない）2点（危険性・不安が低い）1点（危険性・不安が非常に低い）となるようにするため、必要に応じて項目の評点を逆転した。

表2 . 天井効果、床効果の確認

No.	平均値	標準偏差	平均値+標準偏差	平均値-標準偏差	天井 or 床効果	項目の逆転の有無
Q19	3.30	0.89	4.19	2.41	無し	有り
Q20	3.20	0.99	4.19	2.21	無し	有り
Q21	4.18	0.95	5.13	3.23	天井効果	有り
Q22	3.62	1.04	4.66	2.58	無し	有り
Q23	4.07	1.04	5.11	3.03	天井効果	有り
Q24	3.59	1.06	4.65	2.53	無し	有り
Q25	3.76	1.06	4.82	2.70	無し	有り
Q26	3.54	1.09	4.63	2.45	無し	有り
Q27	3.69	1.06	4.75	2.63	無し	有り
Q28	3.83	1.06	4.89	2.77	無し	有り
Q29	3.79	1.10	4.89	2.69	無し	有り
Q30	3.82	1.02	4.84	2.80	無し	有り
Q31	4.13	0.97	5.10	3.16	天井効果	有り
Q32	4.12	0.96	5.08	3.16	天井効果	有り
Q33	3.72	1.18	4.90	2.54	無し	有り
Q34	3.91	1.10	5.01	2.81	天井効果	有り
Q35	3.83	1.08	4.91	2.75	無し	有り
Q36	2.15	1.03	3.18	1.12	無し	無し
Q37	3.90	0.93	4.83	2.97	無し	有り
Q38	3.95	0.94	4.89	3.01	無し	有り
Q39	3.76	0.96	4.72	2.80	無し	有り
Q40	3.67	1.12	4.79	2.55	無し	有り

1 天井効果、床効果：

各項目において、得点分布が高い方（低い方）に歪んでいること。具体的には、平均値±1標準偏差の値が尺度の上限値を上回ったり（天井効果）、下限値を下回ったり（床効果）した項目となっている。因子分析は変数間の相関関係を基本とした分析であるため、回答に極端な偏りを示す変数を用いた場合、結果が不適切で不安定になる。そのため、因子分析を行う際には、これらの極端に偏った変数を前もって除外するのが一般的である。

2-3 . 因子分析 ²

天井効果、床効果が出ている項目を排除し、残った 16 項目において、因子分析により潜在因子を抽出した。潜在因子の抽出には、主因子法、プロマックス回転法³を用いて、固有値 1 以上の因子を採用した。まず、因子分析を行い、各項目における因子抽出後の共通性が著しく低かった項目（Q36）は、項目として除外し、改めて因子分析を行った。その結果、リスクに関する潜在因子として 3 因子が抽出された。得られた因子負荷量を表 3 に示す。

表 3 . プロマックス回転後の因子負荷量

設問	因子 1	因子 2	因子 3
Q24 安全要因情報を得たときの遺伝子組換え食品に対する不安	.866	.040	-.103
Q26 身近な人が食べている遺伝子組換え食品を食べることへの不安	.860	-.044	.019
Q25 生命倫理的な不安	.856	-.047	.045
Q27 外国人が食べている遺伝子組換え食品を食べることへの不安	.796	.047	.011
Q40 承認されている遺伝子組換え食品に対する不安	.766	-.015	.078
Q20 承認されている遺伝子組換え食品に対するリスク	.766	.052	-.050
Q19 遺伝子組換え食品の将来的なリスク	.735	-.012	.035
Q22 組み換えた遺伝子が体内に入り、体内に悪影響を与える可能性認知度	.624	.026	.112
Q30 遺伝子組換え開発企業が種子支配をする可能性認知度	-.220	.616	.158
Q28 遺伝子組換え農作物の混入可能性の認知度	.169	.564	.014
Q29 表示義務のない食品に対して、企業が表示をしない頻度の認知度	.054	.522	-.058
Q33 遺伝子組換え農作物の危険性が確認されたときの国の情報隠蔽の認知度	.154	.509	-.080
Q35 遺伝子組み換えに関して問題が発生した際に情報を得られに可能性認知度	.041	.506	.016
Q38 遺伝子組換え農作物を輸入することによる環境影響リスク認知	-.033	.017	.817
Q39 遺伝子組換え農作物を栽培することによる周辺環境リスク認知	.033	.026	.800
Q37 国内で遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境影響リスク認知	.232	-.007	.611

2 因子分析：

測定された変数（項目）間の相関関係を元に、実際には観測することができない「潜在的な変数」を導き出す分析手法。測定された変数（項目）が、どのような潜在的な因子から影響を受けているかを調べる手法である。各項目に影響を与える、潜在的な変数は、全ての項目に影響を与える共通因子と、1つの項目にのみ影響を与える独自因子とに分けられる。因子分析は、共通因子と独自因子の 2 種類の因子のうち、共通因子を探ることを目的としている。そのため、因子分析を行う際に、他の項目より共通性が著しく低い項目については、最終の分析前に排除するのが一般的。

3 プロマックス回転法（斜交回転）

因子分析では、一般に初期解だけでは因子の解釈が難しい。そのため因子を解釈しやすいように、因子軸を回転する。回転には因子同士が相関関係を持たないと仮定する直交回転と、因子同士に相関関係があると仮定する斜交回転がある。今回の分析では、リスクに関する因子間には相関関係があると仮定し、斜交回転の 1 つであるプロマックス回転法を採用した。

2-4 . 因子の解釈

得られた3つの因子についての解釈を行った。因子1は「安全要因情報を得たときの遺伝子組換え食品に対する不安」、「身近な人が食べている遺伝子組換え食品を食べることへの不安」「生命倫理的な不安」などの項目が高い因子負荷量を示した。これらの項目は実際の質問についてもあくまで食べることに對して、危険（安全）か、不安（安心）かを問っている質問であり、因子1は「食品リスク」と命名した。因子2は「遺伝子組換え開発企業が種子支配をする可能性認知度」、「遺伝子組換え農作物の混入可能性の認知度」、「遺伝子組換え農作物の危険性が確認されたときの国の情報隠蔽の認知度」などで高い因子負荷量を示した。これらについては全て社会的な問題であり、遺伝子組換えに携わる人たちがミスによって起こすことへの不安（安心）や可能性の高さについて問っている項目であるので、因子2は「ヒューマンエラー」と命名した。因子3は「遺伝子組換え農作物を輸入することによる環境影響リスク認知」、「遺伝子組換え農作物を栽培することによる周辺環境リスク認知」、「国内で遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境影響リスク認知」が高い因子負荷量を示した。これらの因子はそのまま「環境リスク」と命名した。

2-5 . 因子間相関⁴

得られた3つの因子間の相関について検討した(表4)。全ての因子間において、かなりの正の相関が見られた。このことから、リスク認知に関して何か1つの因子が高くなれば、他の2つの因子も同様に高まる。例えば、ヒューマンエラーによって、遺伝子組換えに係わる制度等についてのリスク認知が高まってくると、食品リスク、環境リスクに対するリスク認知も同様に高まる。

表4 . 因子間相関

因子	1	2	3
1	1	.607	.655
2	.607	1	.616
3	.655	.616	1

4 相関係数：

2変数間の関係の強さを表す係数。相関係数は、-1.0~+1.0の値をとり、値が0より大きいときは片方の変数が増加すればもう片方の変数も増加するという正の関係になる。一方、値が0より小さいときは片方の変数が増加すればもう片方の変数は減少するという負の関係になる。また、相関係数が0に近づくほど2つの変数の間に因果関係が希薄であることになる。絶対値が大きいほど正（または負の）相関が強いことを表す。

3. 考察

以上の結果から、

市民は、遺伝子組み換え食品・農作物に関して、食品としてのリスクや、環境に与えるリスクのみではなく、人為的な過失・関係者による技術の悪用、法的な制度等の抜け道など、ヒューマンエラーについてもリスクとして認知している。

市民が認知するリスクについては、それぞれに相関があり食品のリスク認知が仮に低くても、環境に対するリスクやヒューマンエラーに対するリスク認知が高まれば、食品としてのリスク認知も高まる。

遺伝子組換え食品のリスク認知を低くするためには、食品だけでなく、環境への影響、遺伝子組換えに係わる制度、関係者のモラル等、遺伝子組換えに係わる全てのリスク認知を下げていくことが必要となる。

4. まとめ

これらの結果より、遺伝子組換えについての安全性が説明されるときは、遺伝子組換え食品の安全性や遺伝子組換え農作物を栽培するときの環境への影響について、触れられることが多かった。しかし、今回の分析では、市民のリスク認知としてヒューマンエラーがあることが示された。科学技術は、いくら安全な技術であってもそれを扱う人間や制度がきちんとしていなくては、安全に使用することはできない。そのため、ヒューマンエラーをより低くするための制度の作成や技術の開発、そしてそれらがしっかりと存在することを市民に対して訴えていく必要がある。

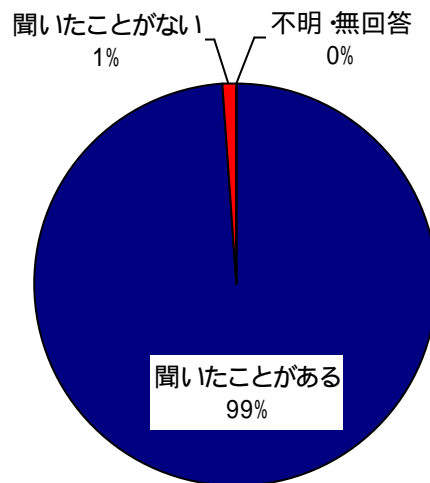
5. 参考文献

- 松尾太加志・中村知靖（2002）誰も教えてくれなかった因子分析 北大路書房
- 小塩真司著（2004）SPSSとAmosによる心理・調査データ解析 東京図書
- 石村貞夫・Desmond Allen（1997）すぐ分かる統計用語

・「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」調査結果

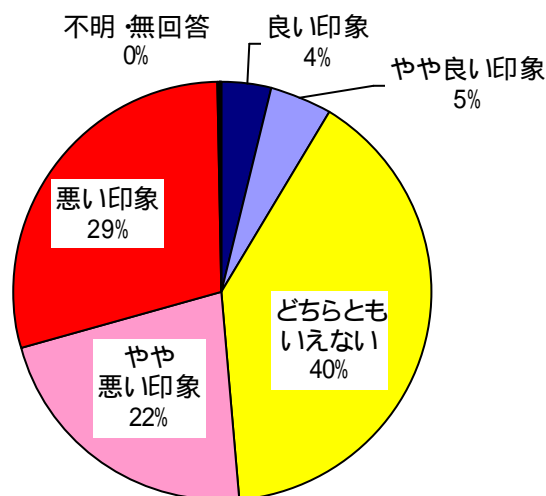
Q1：あなたは、「遺伝子組換え食品」という言葉を聞いたことがありますか。
大部分の回答者が「遺伝子組換え食品」という言葉を聞いたことがあると回答した。

Q1：「遺伝子組換え食品」という言葉を聞いたことがあるか



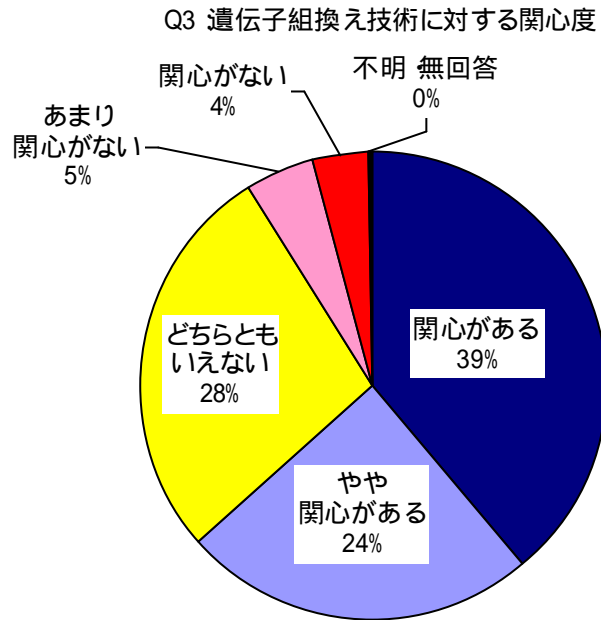
Q2：あなたは遺伝子組換え食品についてどのような印象を持っていますか。
遺伝子組換え食品についての印象については、51%が「悪い印象」、「やや悪い印象」と回答した。

Q2：遺伝子組換え食品に対する印象度



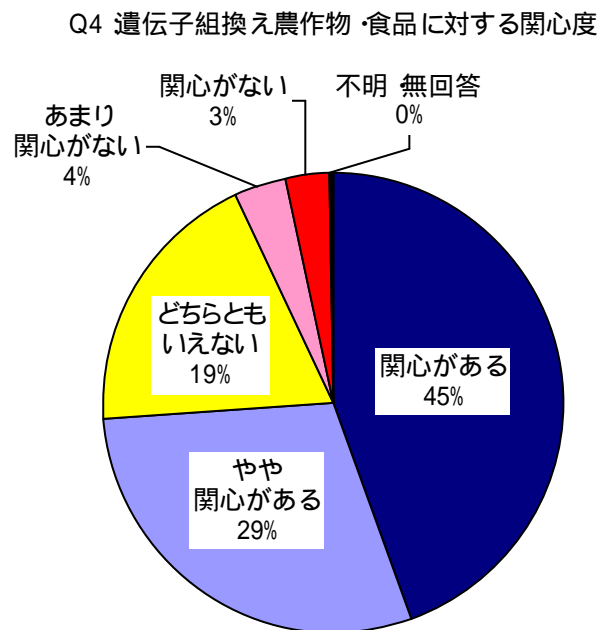
Q3：あなたは、遺伝子組換え技術について関心がありますか。

遺伝子組換え技術に関する関心については、63%が「関心がある」、「やや関心がある」と回答した。



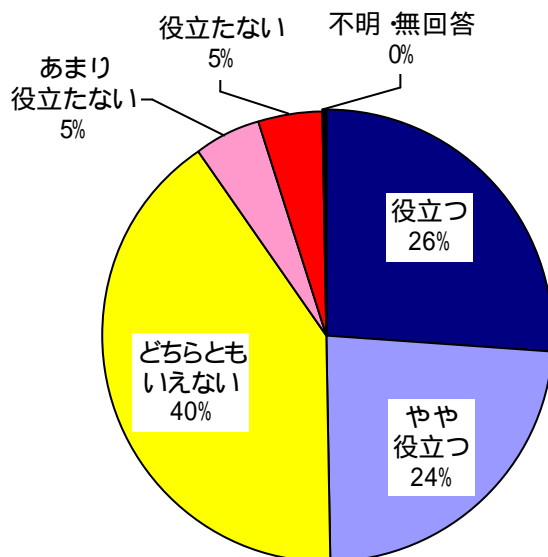
Q4：あなたは、遺伝子組換え農作物・食品について関心がありますか。

遺伝子組換え技術に関する関心については、74%が「関心がある」、「やや関心がある」と回答した。



Q5：あなたは、遺伝子組換え技術は農業・食品分野にとって役立つ技術だと思いますか。
 遺伝子組換え技術の有用度認知については、50%が「役立つ」、「やや役立つ」と回答した。

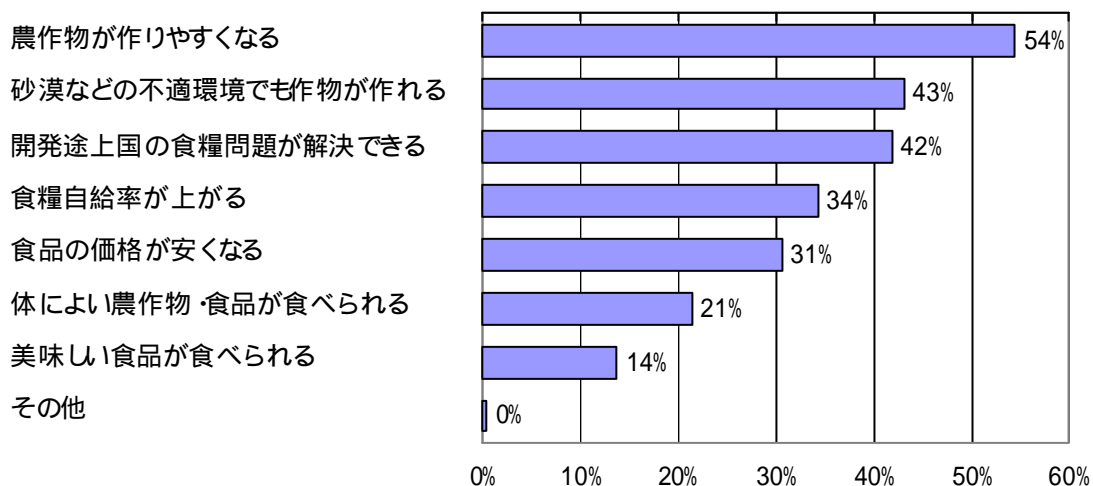
Q5 遺伝子組換え技術の有用度認知



Q6：Q5で「役立つ」、「やや役立つ」と答えた方にお聞きします。どのようなことで遺伝子組換え技術が役立つと思いますか。（複数回答可）

遺伝子組換え技術が役立つと思う理由は、「農作物が作りやすくなる」、「砂漠などの不適環境でも栽培できる」、「開発途上国の食糧問題が解決できる」の3つの回答が40%を超えた。

Q6 遺伝子組換え技術が役立つ理由

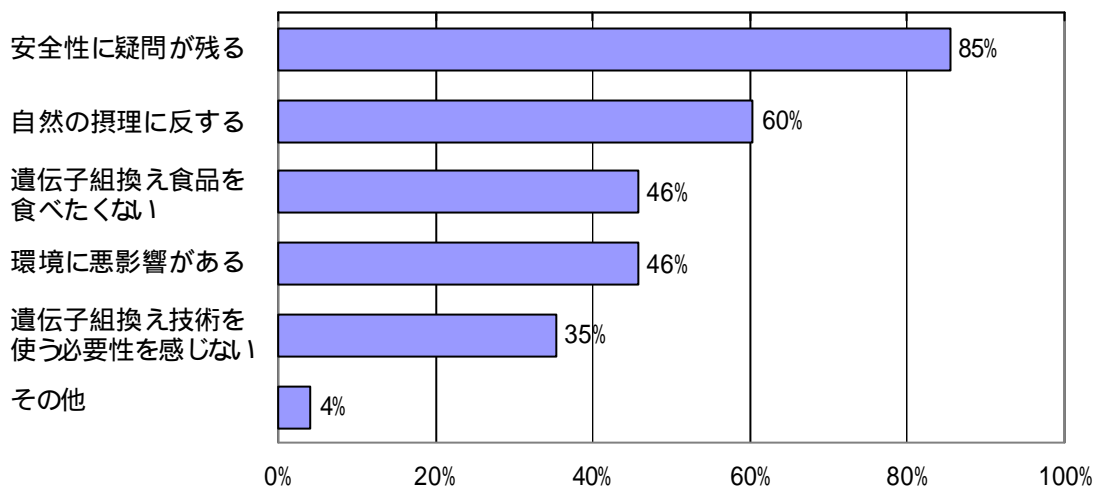


Q6 回答者数：248名

Q7：Q5で「役立たない」、「あまり役立たない」と答えた方にお聞きします。役立たないと思う理由は何ですか。（複数回答可）

遺伝子組換え技術が役立たないと思う理由は、「安全性に疑問が残る」が最も多く85%、次いで「自然の摂理に反する」が60%、「遺伝子組換え食品を食べたくない」、「環境に悪影響がある」の2つが46%であった。

Q7 遺伝子組換え技術が役立たない理由

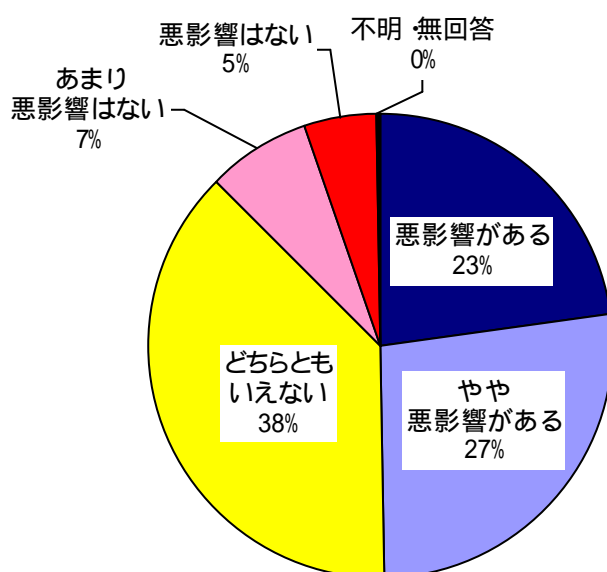


Q7 回答者数：48名

Q8：遺伝子組換え農作物を栽培することによって環境への悪影響があると思いますか。

遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境への悪影響の懸念については、50%が「悪影響がある」、「やや悪影響がある」と回答した。

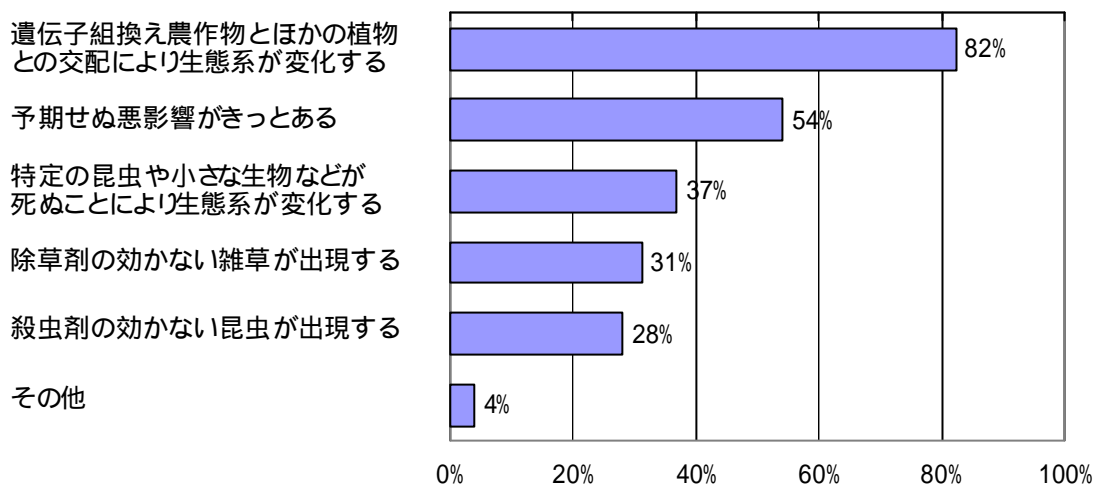
Q8 遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境への懸念



Q9：Q8で「悪影響がある」、「やや悪影響がある」と答えた方にお聞きします。どのような悪影響があると思いますか。（複数回答可）

遺伝子組換え農作物の栽培により懸念される悪影響の種類は、「遺伝子組換え農作物と他の植物との交配により生態系が変化する」が82%、「予期せぬ悪影響がきつとある」が54%であった。

Q9 遺伝子組換え農作物の栽培により懸念される悪影響の種類

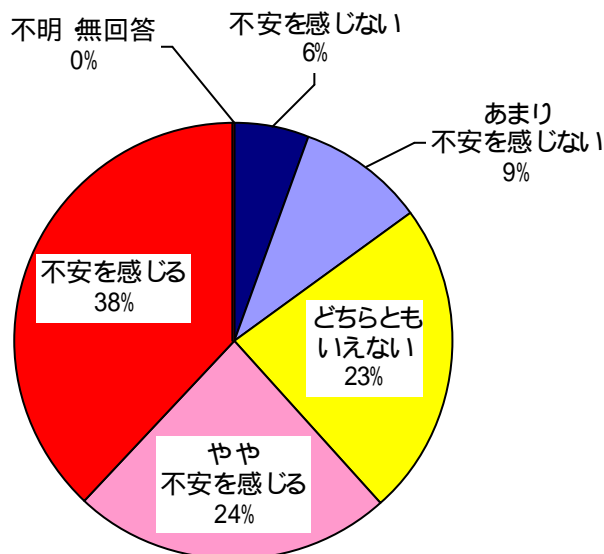


Q9 回答者数：249 名

Q10：現在、流通している遺伝子組換え食品は生産者にメリットがあるものがほとんどです。あなたは、このような遺伝子組換え食品を食べることに不安を感じますか。

遺伝子組換え食品を食べることに対する不安については、62%が「不安を感じる」、「やや不安を感じる」と回答した。

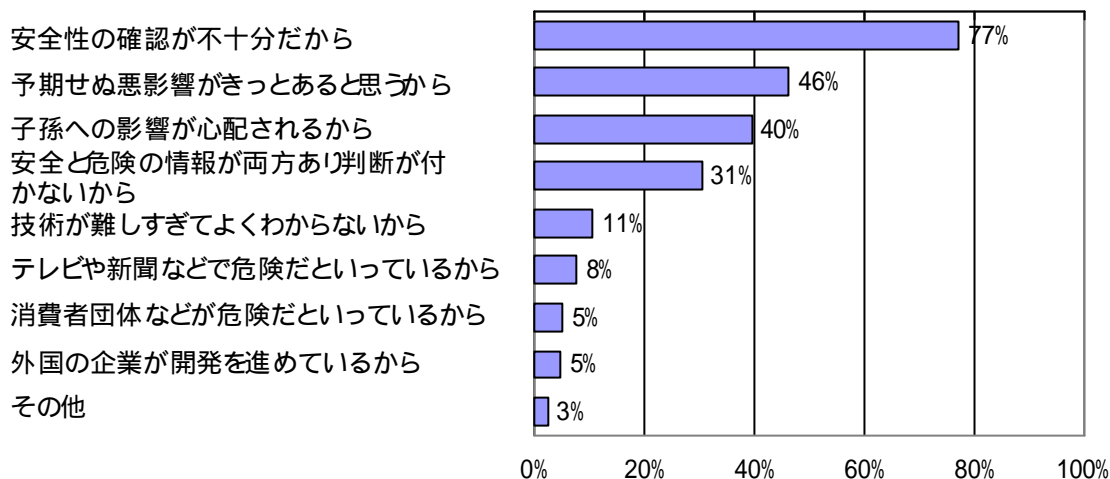
Q10 遺伝子組換え食品を食べることへの不安



Q11：Q10で「不安を感じる」、「やや不安を感じる」と答えた方にお聞きします。あなたが不安を感じる理由は何ですか。（複数回答可）

遺伝子組換え食品を食べることへの不安については、「安全性の確認が不十分だから」が77%、「予期せぬ悪影響がきっとあると思うから」が46%、「子孫への影響が心配されるから」が40%であった。

Q11 遺伝子組換え食品を食べることへの不安理由

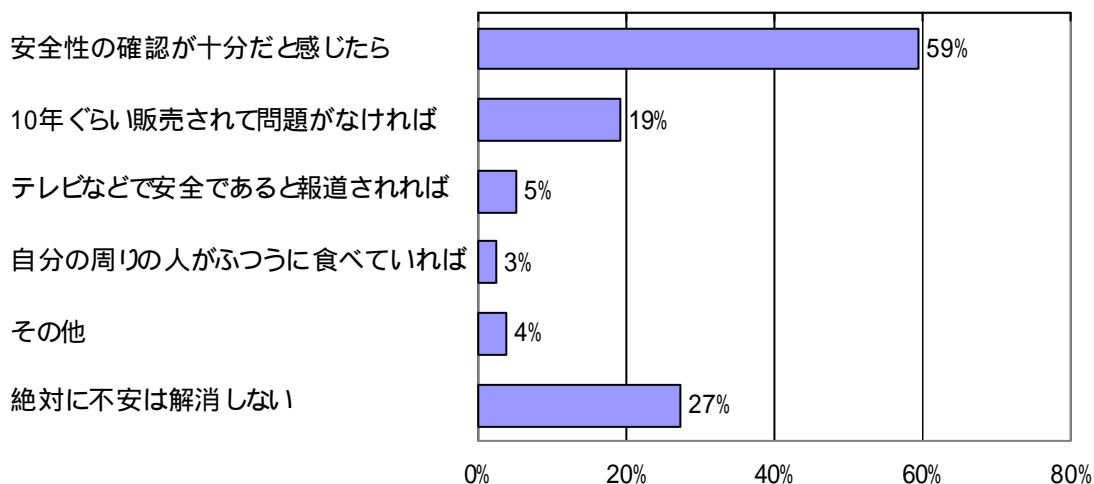


Q11 回答者数：308名

Q12：Q10で「不安を感じる」、「やや不安を感じる」と答えた方にお聞きします。どうすればあなたの不安は解消すると思いますか。（複数回答可）

遺伝子組換え食品に対する不安を解消する要因については、「安全性の確認が十分と感じたら」が59%であった。一方、「絶対に不安は解消しない」という回答も27%あった。

Q12 遺伝子組換え食品を食べることに対する不安の解消要因

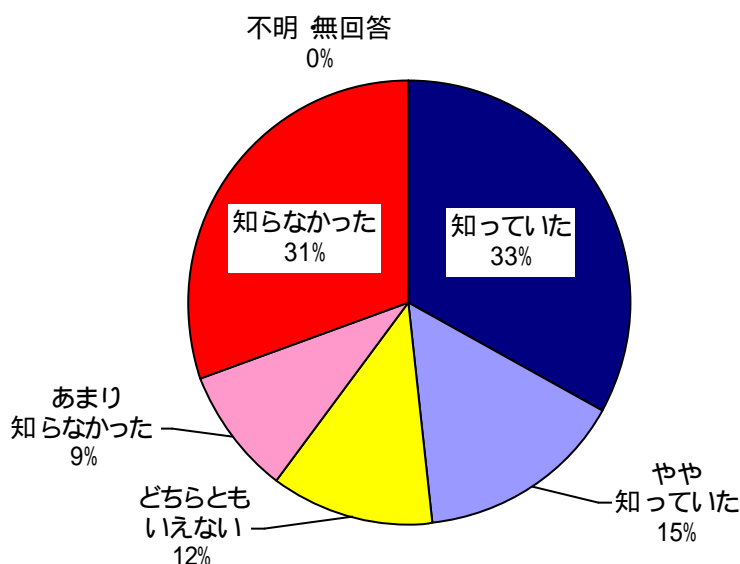


Q12 回答者数：308名

Q13：遺伝子組換え技術・農作物・食品は法律に基づき関係省庁が安全性を確認していることを知っていましたか。

関係省庁が、遺伝子組換えに関連する安全性を確認していることについては、48%が「知っていた」「やや知っていた」と回答した。一方、40%は「知らなかった」、「あまり知らなかった」と回答した。

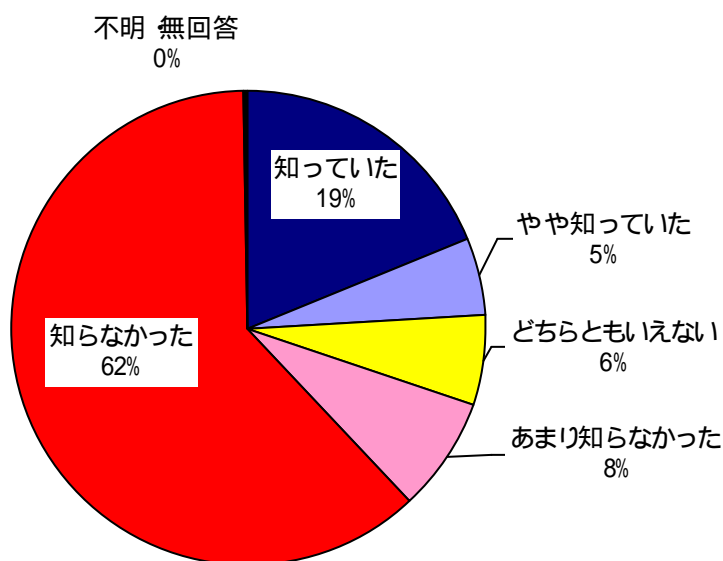
Q13 遺伝子組換えに関する安全性確認制度の認知度



Q14：植物油や醤油は、その原料に遺伝子組換え農作物を使用しても、遺伝子組換え食品であるという表示をする必要がないことを知っていましたか。

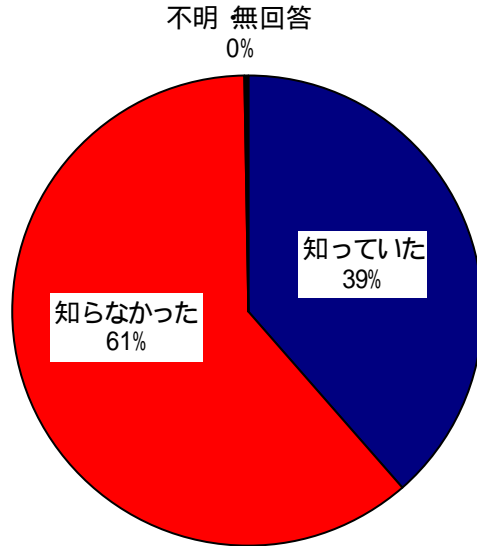
遺伝子組換え食品についての表示制度の詳細については、70%が「知らなかった」「あまり知らなかった」と回答した。

Q14 遺伝子組換え食品の表示制度に関する認知度



Q15：日本では遺伝子組換え農作物の商業栽培が行われていないことを知っていましたか。
 日本で遺伝子組換え農作物の商業栽培が行われていないことについては、61%が知らなかったと回答した。

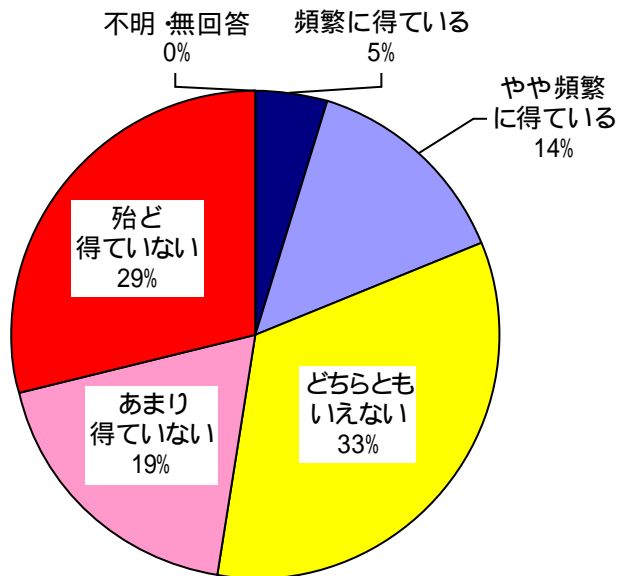
Q15：国内において遺伝子組換え農作物の商業栽培が行われていないことに対する認知度



Q16：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報をどのくらいの頻度で得ていますか？

遺伝子組換えに関する情報入手頻度は、48%が「殆ど得ていない」、「あまり得ていない」と回答した。

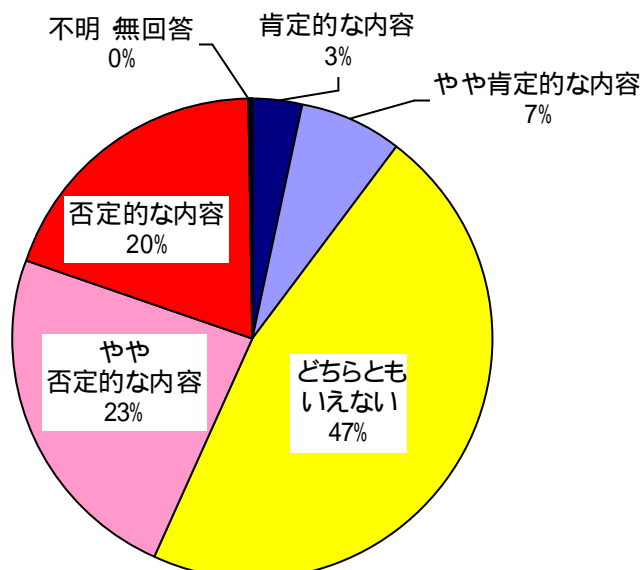
Q16 遺伝子組換えに関する情報収集頻度



Q17：あなたが得ている遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報は否定的な情報が多いですか？肯定的な情報が多いですか？

遺伝子組換えに関して入手している情報内容については、43%が「否定的な内容」、「やや否定的な内容」と回答した。

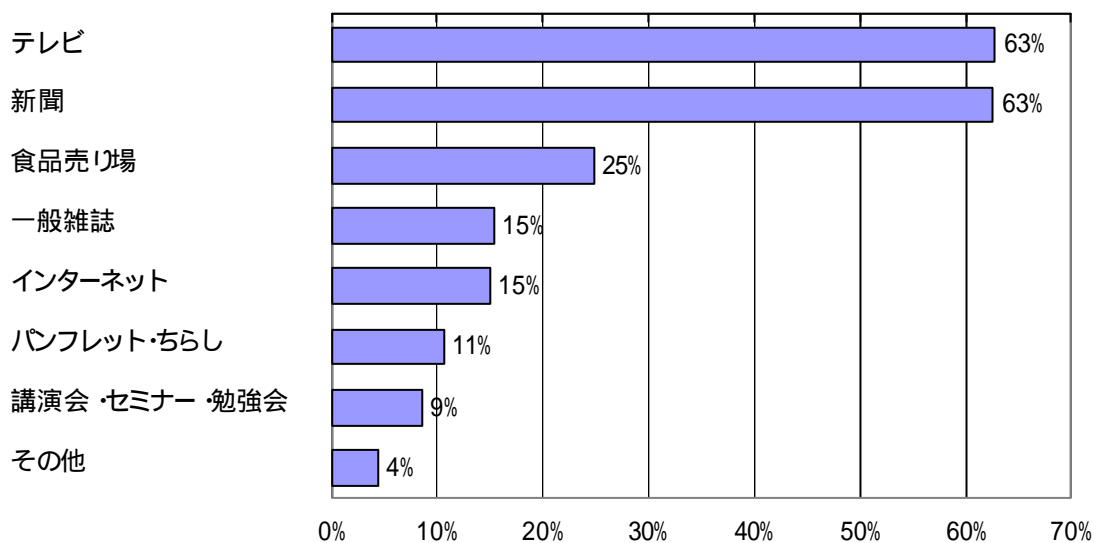
Q17：消費者が得ている遺伝子組換えに関する情報の内容



Q18：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報をどのようにして入手していますか。

遺伝子組換え関連の情報入手先については、「テレビ」、「新聞」がともに63%であった。また、「食品売り場」が25%、「一般雑誌」、「インターネット」がともに15%であった。

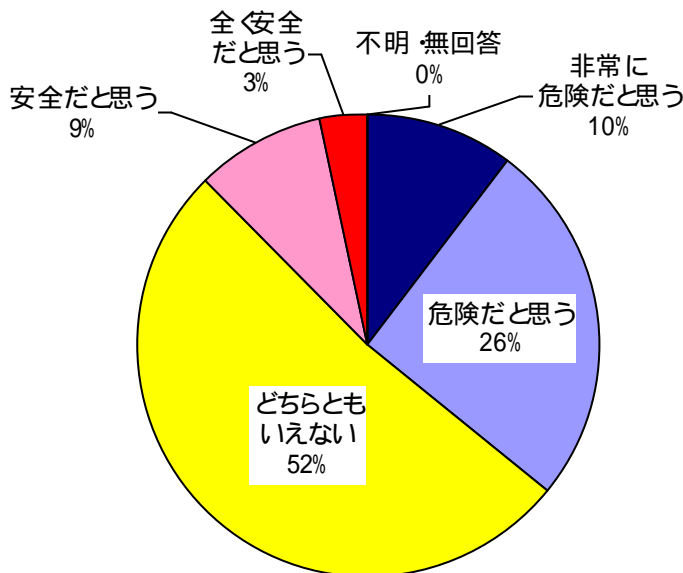
Q18：遺伝子組換えに関する情報収集源



Q19 :現時点では科学的に安全とされる遺伝子組換え食品は、将来的にも安全だと思いますか、危険だと思いますか？

現在、科学的に安全とされる遺伝子組換え食品が将来的に安全かどうかについての認知度は、36%が「非常に危険だと思う」、「危険だと思う」と回答した。

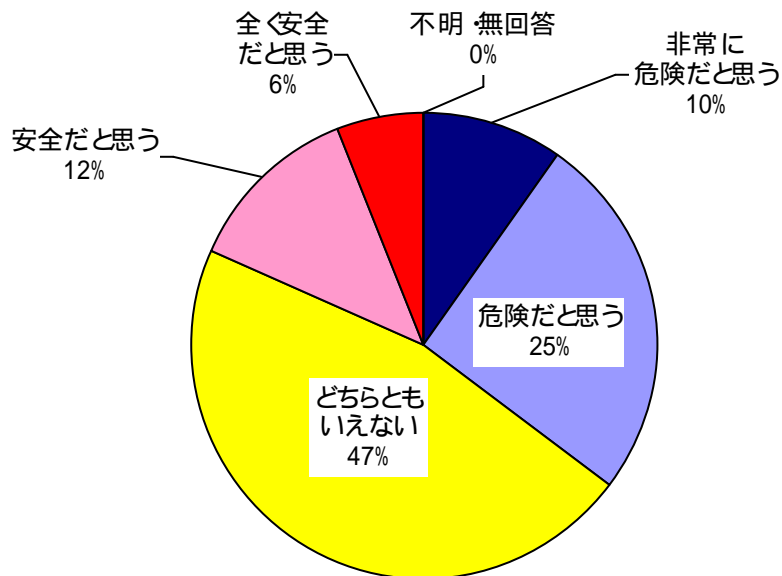
Q19 遺伝子組換え食品の将来的なリスク認知



Q20 :国が安全であると認めている遺伝子組換え食品を食べることは安全だと思いますか、危険だと思いますか？

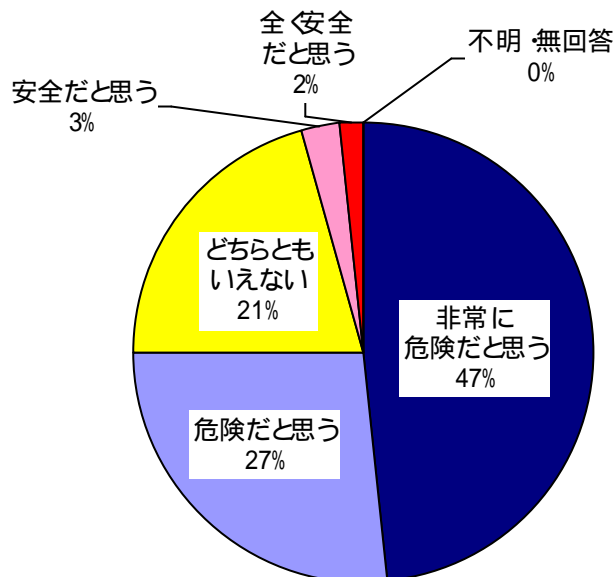
国により安全性を確認されている遺伝子組換え食品を食べることについての認知度は、35%が「非常に危険だと思う」、「危険だと思う」と回答した。

Q20 :国が安全性を確認している遺伝子組換え食品に対するリスク認知



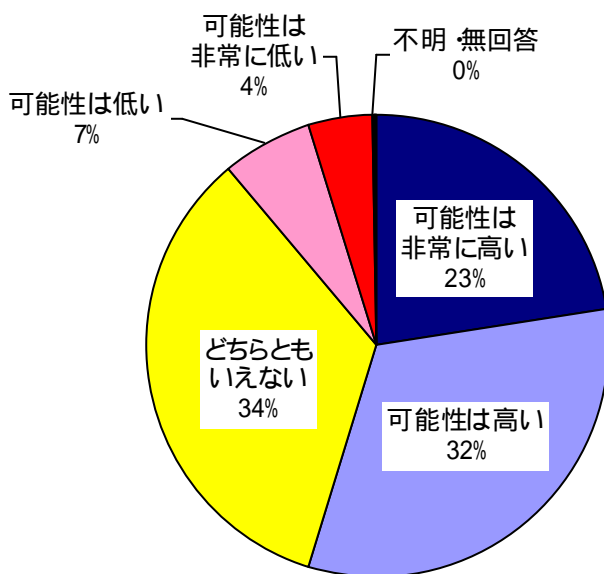
Q21 : 国により安全性が確認されている遺伝子組換え食品のうち、虫が食べると死んでしまう遺伝子組換え食品を食べることは安全だと思いますか、危険だと思いますか？
 国が安全性を確認した遺伝子組換え食品のうち、害虫抵抗性を持つ遺伝子組換え食品についての認知度は、74%が「非常に危険だと思う」、「危険だと思う」と回答した。

Q21 害虫抵抗性を持たせた遺伝子組換え食品に対するリスク認知



Q22 : 遺伝子組換え農作物を食べることによって、組み換えた遺伝子が体内に入り、体に害を与える可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？
 遺伝子組換え農作物を食べたとき、組み換えた遺伝子が体内で悪影響を起こす可能性についての認知度は、55%が「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

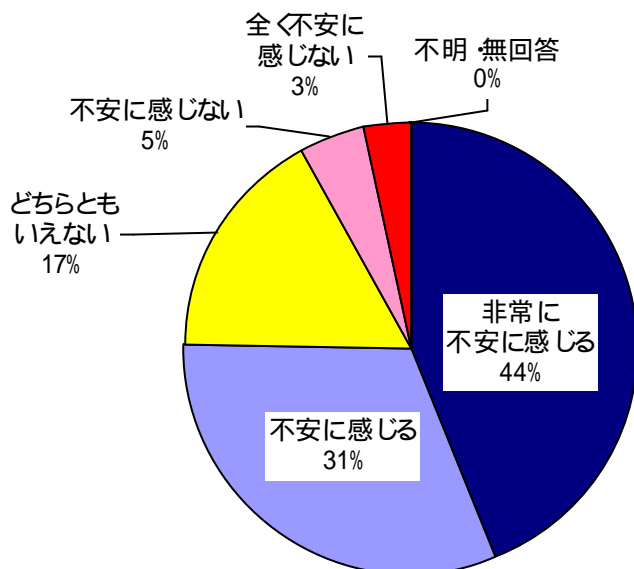
Q22 組み換えた遺伝子が体内で影響を起こす可能性の認知度



Q23 : TV で「安全性については不明な点が多い」と言っていた遺伝子組換え食品を食べることは不安に感じますか、不安に感じませんか？

TV で不安要因を伝えた遺伝子組換え食品を食べることへの認知度は、75%が「非常に不安を感じる」、「不安を感じる」と回答した。

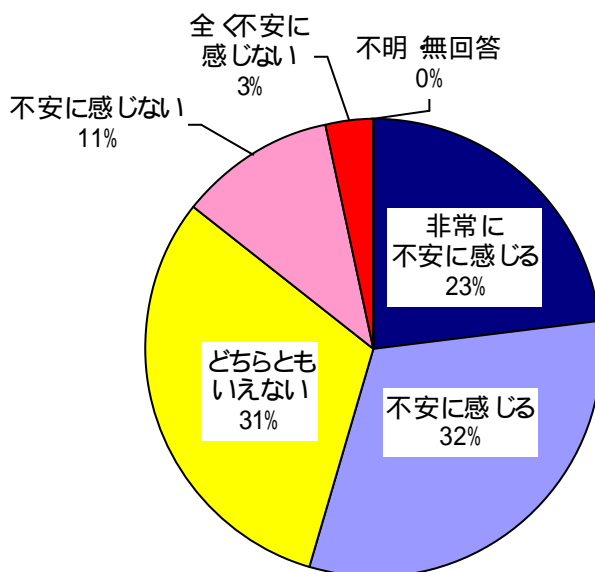
Q23 :不安要因情報を得たときの遺伝子組換え食品に対する不安



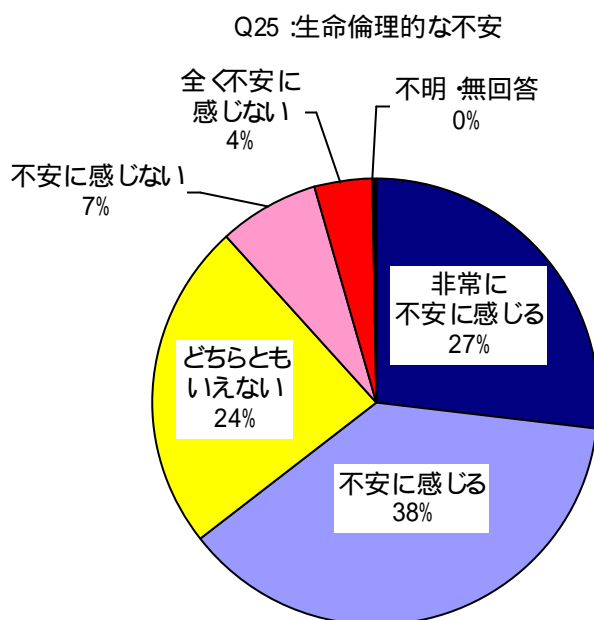
Q24 : TV で「安全だ」と言っている遺伝子組換え食品を食べることは不安に感じますか、不安に感じませんか？

TV で安全要因を伝えた遺伝子組換え食品を食べることへの認知度は、55%が「非常に不安を感じる」、「不安を感じる」と回答した。

Q24 :安全要因情報を得たときの遺伝子組換え食品に対する不安

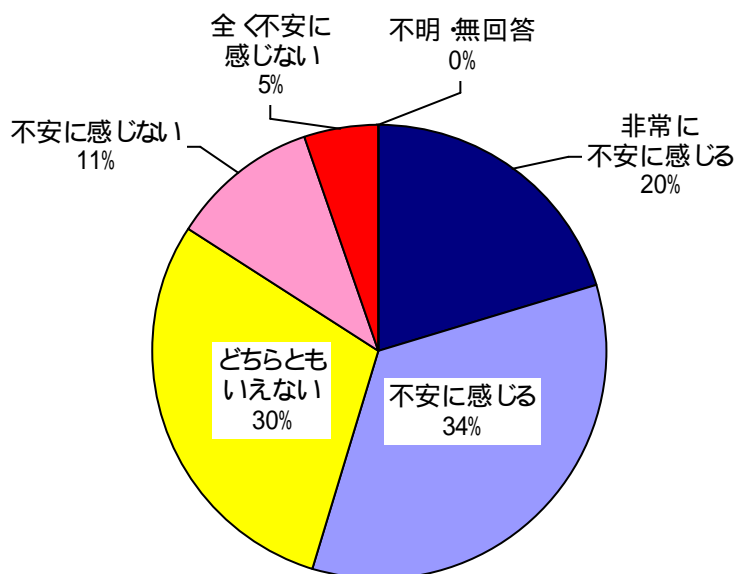


Q25 : 遺伝子組換え農作物は、自然交配によらず人為的に遺伝子を組み換えて作り出されたものです。このような農作物を食べることは不安に感じますか、不安に感じませんか？
 生命倫理的な心理要因からくる不安については、65%が「非常に不安を感じる」、「不安を感じる」と回答した。



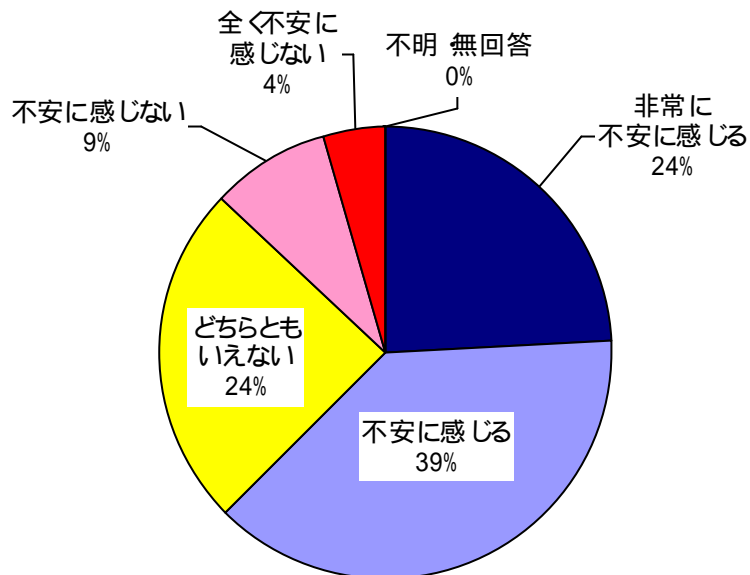
Q26 : 周りの身近な人がある遺伝子組換え食品を食べているとしたら、あなたはその遺伝子組換え食品を食べることについて、不安を感じますか、不安に感じませんか？
 周りの身近な人が食べている遺伝子組換え食品を食べることについては、54%が「非常に不安を感じる」、「不安を感じる」と回答した。

Q26 : 身近な人が食べている遺伝子組換え食品を食べることへの不安



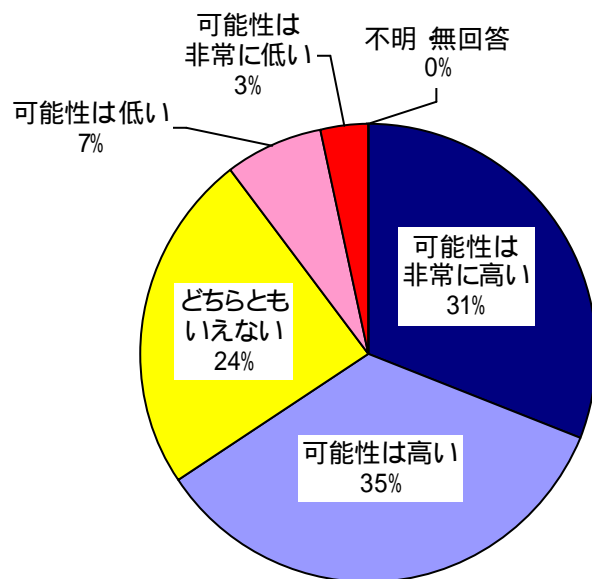
Q27：外国では普通に食べられている遺伝子組換え食品を、あなたが食べることに、不安に感じますか、不安に感じませんか？
 外国で普通に食べられている遺伝子組換え食品を食べることについては、63%が「非常に不安に感じる」、「不安に感じる」と回答した。

Q27 :外国人が食べている遺伝子組換え食品を食べることへの不安



Q28：普段食べている食品に遺伝子組換え農作物が、大量に混入してしまう可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？
 遺伝子組換え農作物が普通の農作物に混入してしまう可能性の認知度は、66%が「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

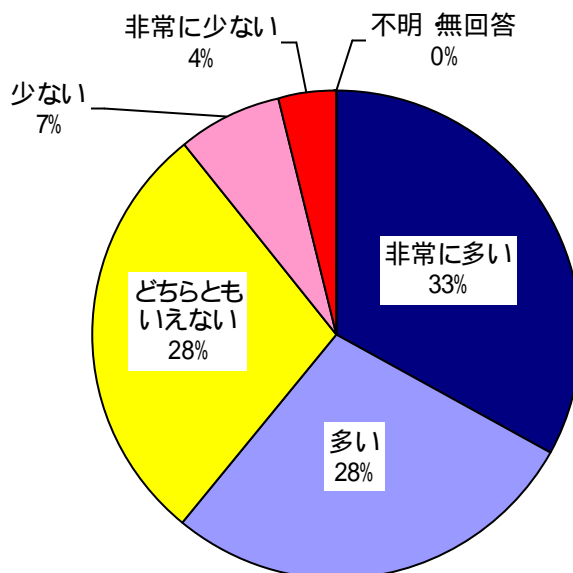
Q28 遺伝子組換え農作物の混入可能性の認知度



Q29 :油などの表示義務のない商品において、企業は遺伝子組換え食品を使っても表示しないことが多いと思いますか、少ないと思いますか？

表示義務のない商品において企業が遺伝子組換え表示をしないことについての認知度は、61%が「非常に多い」、「多い」と回答した。

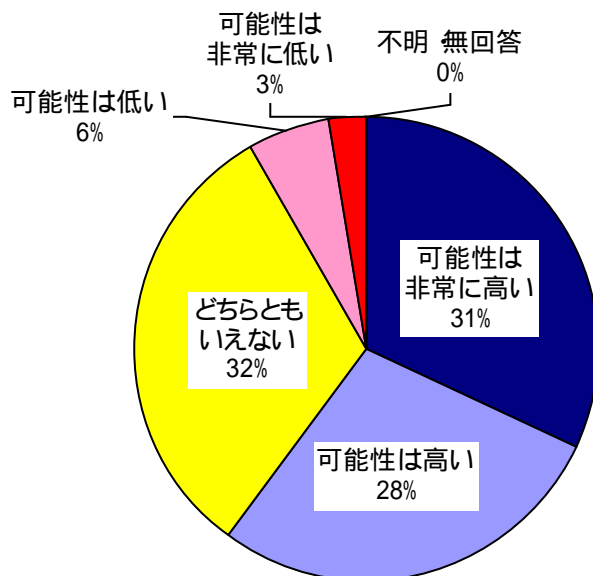
Q29 表示義務のない食品に対して、企業が表示をしない頻度の認知



Q30 : 遺伝子組換え農作物の種を扱い企業が、種を独占的に支配する可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

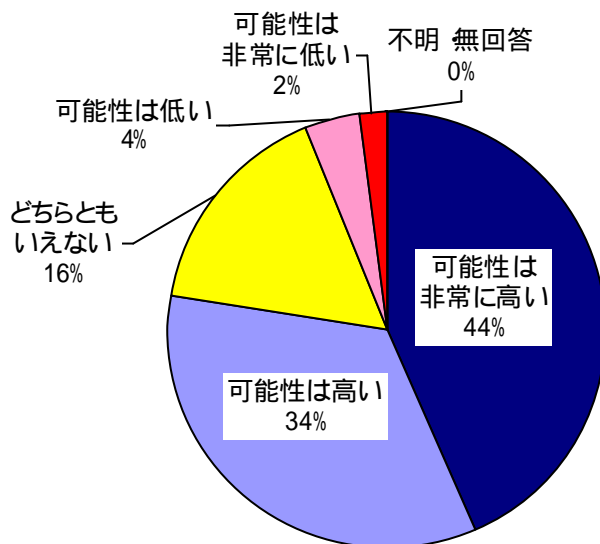
遺伝子組換え種子を取り扱う企業が、種子を独占的に支配する可能性の認知度は、59%が「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

Q30 : 遺伝子組換え開発企業が種子支配をする可能性認知度



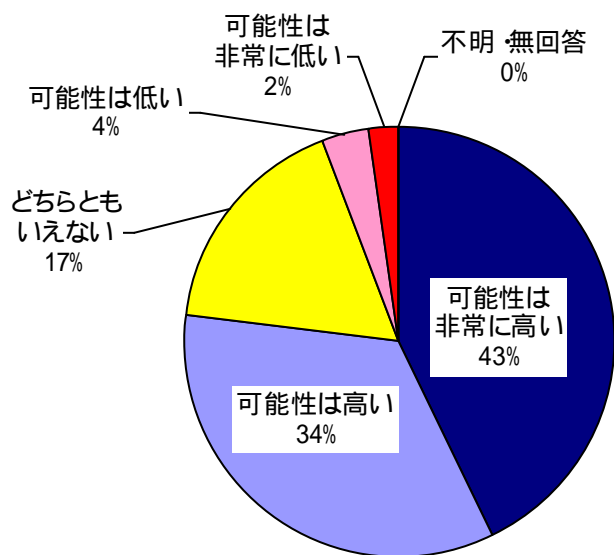
Q31 : 安全性が確認されていない遺伝子組換え農作物が、輸入の際に遺伝子組換えではない食品に混ざってしまう可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？
 未承認の遺伝子組換え農作物が輸入の際に混入してしまう可能性の認知度は、78%が、「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

Q31 : 安全性未承認の遺伝子組換え農作物が混入する可能性認知度



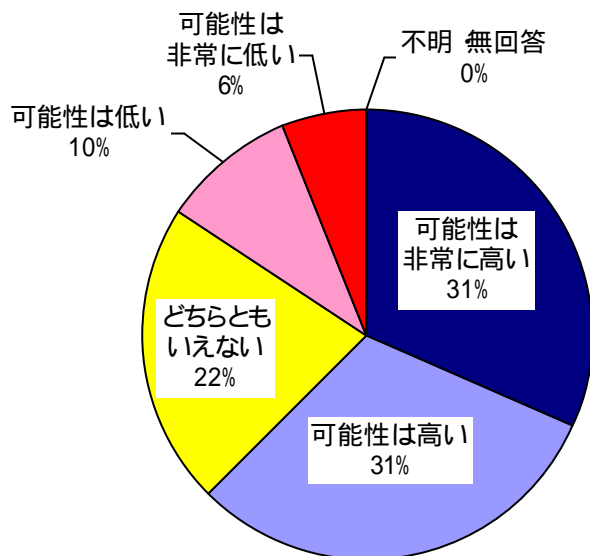
Q32 : 輸入時に遺伝子組換え農作物が混入したことを知っているのに、企業がその事実を隠して遺伝子組換えではない食品として販売する可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？
 遺伝子組換え農作物が混入した際に企業がその事実を隠蔽する可能性の認知度は、77%が「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

Q32 : 遺伝子組換え農作物混入時における企業の事実隠蔽の可能性認知度



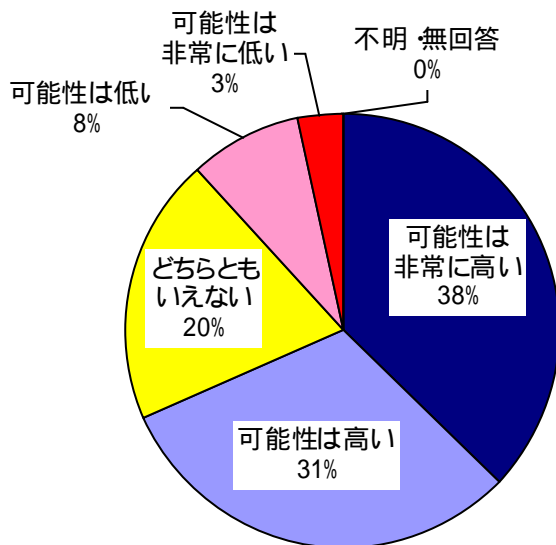
Q33 : ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的にわかったときに、国がその情報を一切公表しない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？
 遺伝子組換え食品に危険性があると分かったときに、国がその情報を公開しない可能性の認知度は、62%が「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

Q33 遺伝子組換え農作物の危険性が確認されたときの国の情報隠蔽の可能性認知度



Q34 : ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的にわかったときに、開発した企業がその情報を一切公表しない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？
 遺伝子組換え食品に危険性があると分かったときに、企業がその情報を公開しない可能性の認知度は、69%が「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

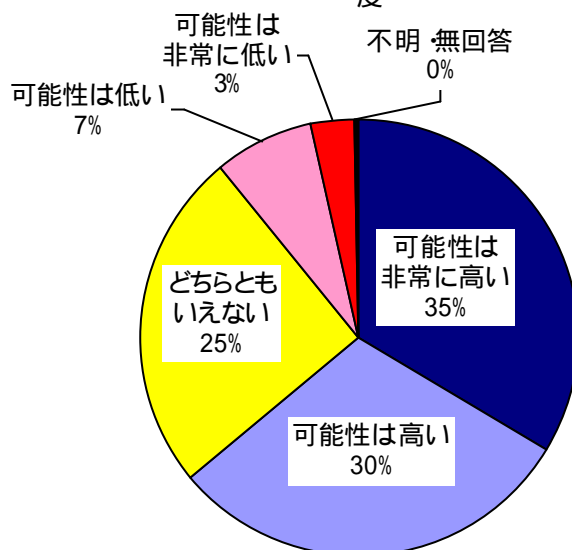
Q34 遺伝子組換え農作物の危険性が確認されたときに、企業が情報隠蔽を行う可能性認知度



Q35 : ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的にわかったときに、自分がその情報を入手できない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

遺伝子組換え食品に健康被害の可能性があると分かったときに、その情報を入手できない可能性の認知度は、65%が「可能性は非常に高い」、「可能性は高い」と回答した。

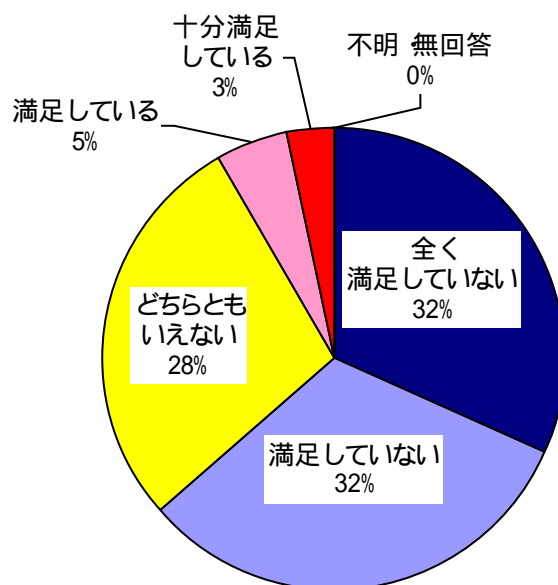
Q35 : 遺伝子組換えに関して問題が発生した際に情報を得られない可能性認知度



Q36 : あなたは、遺伝子組換え農作物に関して自分が得られる情報量に満足していますか？

遺伝子組換え農作物に関して得ている情報量の満足度は、64%が「全く満足していない」、「満足していない」と回答した。

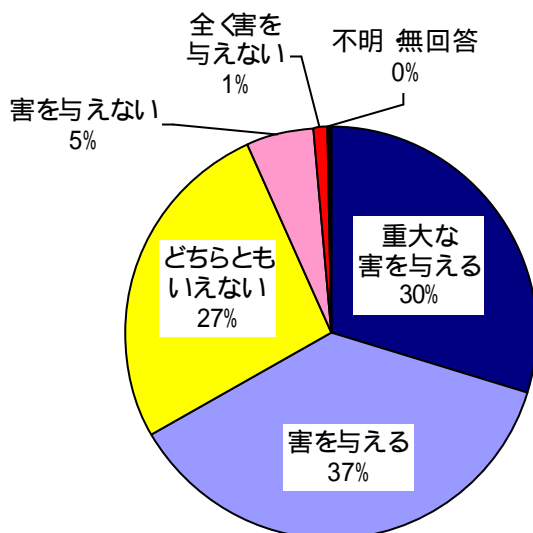
Q36 : 遺伝子組換えに関して得ている情報量の満足度



Q37 : 日本で遺伝子組換え農作物を栽培することにより、日本の生態系に害を与えますか、害を与えないと思いますか？

日本で遺伝子組換え農作物を栽培することによって生態系へ害を与える可能性の認知度は、67%が「重大な害を与える」、「害を与える」と回答した。

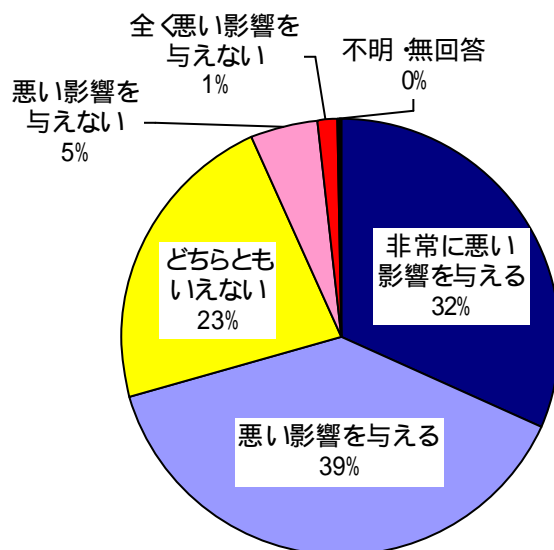
Q37 :国内で遺伝子組換え農作物を栽培することによる環境影響リスク認知



Q38 : 輸入した遺伝子組換え農作物の種が、輸送中にしばしばこぼれ落ちるとしたら、日本の生態系に悪い影響を与えますか、悪い影響を与えないと思いますか？

遺伝子組換え農作物の種を輸入した際に、こぼれ落ちて生態系に悪影響を及ぼす可能性の認知度は、71%が「非常に悪い影響を与える」、「悪い影響を与える」と回答した。

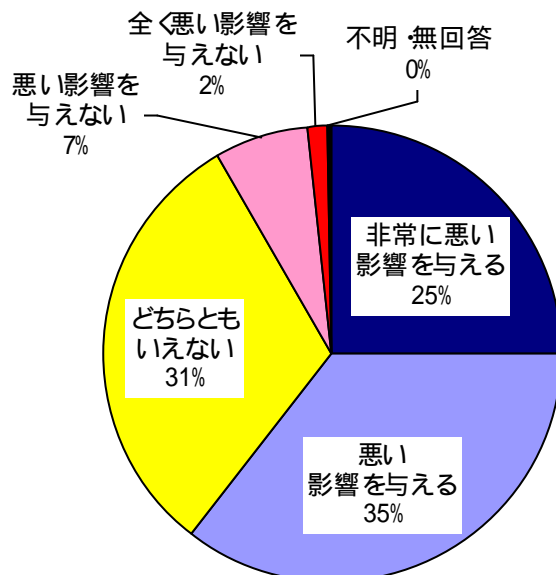
Q38 : 遺伝子組換え農作物を輸入することによる環境影響リスク認知



Q39 : 近隣の住人が遺伝子組換え農作物を栽培したとき、その周辺環境の生態系に悪い影響を与えますか、悪い影響を与えないと思いますか？

遺伝子組換え農作物を栽培することによって周辺の生態系へ悪影響を及ぼす認知度については、60%が「非常に悪い影響を与える」、「悪い影響を与える」と回答した。

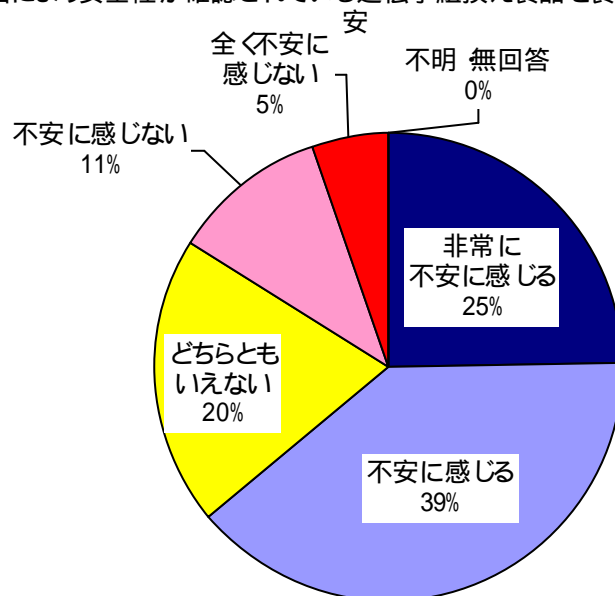
Q39 : 遺伝子組換え農作物を栽培することによる周辺環境へのリスク認知



Q40 : 国が安全であると認めている遺伝子組換え食品を食べることは、不安に感じますか、不安に感じませんか？

国が安全であると認めている遺伝子組換え食品を食べることに対する不安は、64%が「非常に不安を感じる」、「不安を感じる」と回答した。

Q40 : 国により安全性が確認されている遺伝子組換え食品を食べることへの不安



参考資料：

- 1 .「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」集計表
- 2 .「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」調査票

- 1 . 「遺伝子組換え技術・農作物・食品についてのアンケート」集計表

Q1：あなたは、「遺伝子組換え食品」という言葉を聞いたことがありますか。

Q1	聞いたことがある	聞いたことがない	不明 無回答
人数 (人)	494	6	0
割合 (%)	99%	1%	0%

Q2：あなたは遺伝子組換え食品についてどのような印象を持っていますか。

Q2	良い印象	やや良い印象	どちらともいえない	やや悪い印象	悪い印象	不明 無回答
人数 (人)	20	23	200	110	146	1
割合 (%)	4%	5%	40%	22%	29%	0%

Q3：あなたは、遺伝子組換え技術について関心がありますか。

Q3	関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない	不明 無回答
人数 (人)	194	122	140	23	20	1
割合 (%)	39%	24%	28%	5%	4%	0%

Q4：あなたは、遺伝子組換え農作物・食品について関心がありますか。

Q4	関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない	不明 無回答
人数 (人)	222	147	96	19	15	1
割合 (%)	45%	29%	19%	4%	3%	0%

Q5：あなたは、遺伝子組換え技術は農業・食品分野にとって役立つ技術だと思いますか。

Q5	役立つ	やや役立つ	どちらともいえない	あまり役立つしない	役立つしない	不明 無回答
人数 (人)	130	118	203	24	24	1
割合 (%)	26%	24%	40%	5%	5%	0%

Q6：Q5で「役立つ」、「やや役立つ」と答えた方にお聞きします。どのようなことで遺伝子組換え技術が役立つと思いますか。（複数回答可）

Q6 回答者数：248 名

Q6								
人数 (人)	135	107	104	85	76	53	34	1
割合 (%)	54%	43%	42%	34%	31%	21%	14%	0%

- 農作物が作りやすくなる
- 砂漠などの不適環境でも作物が作れる
- 開発途上国の食糧問題が解決できる
- 食糧自給率が上がる
- 食品の価格が安くなる
- 体によい農作物・食品が食べられる
- 美味しい食品が食べられる
- その他
- その他：
 - ・農薬散布が減る。

Q7：Q5で「役立つしない」、「あまり役立つしない」と答えた方にお聞きします。役立つしないと思う理由は何ですか。（複数回答可）

Q7 回答者数：48 名

Q7						
人数 (人)	41	29	22	22	17	2
割合 (%)	85%	60%	46%	46%	35%	4%

- 安全性に疑問が残る
- 自然の摂理に反する
- 遺伝子組換え食品を食べたくない
- 環境に悪影響がある
- 遺伝子組換え技術を使う必要性を感じない
- その他
- その他：
 - ・遺伝子組換えの種を毎年企業から購入するため、農家への経済的悪影響がある。
 - ・PCB、アスベストなど、人間に都合の良い人為的製品ほど、後日悪影響が発生しているから。

Q8：遺伝子組換え農作物を栽培することによって環境への悪影響があると思いますか。

Q8	悪影響がある	やや悪影響がある	どちらともいえない	あまり悪影響はない	悪影響はない	不明 無回答
人数 (人)	114	135	188	36	26	1
割合 (%)	23%	27%	38%	7%	5%	0%

Q9：Q8で「悪影響がある」、「やや悪影響がある」と答えた方にお聞きします。どのような悪影響があると思いますか。（複数回答可）

Q9 回答者数：249 名

Q9						
人数 (人)	205	135	92	78	70	10
割合 (%)	82%	54%	37%	31%	28%	4%

遺伝子組換え農作物とほかの植物との交配により生態系が変化する

予期せぬ悪影響がきつとある

特定の昆虫や小さな生物などが死ぬことにより生態系が変化する

除草剤の効かない雑草が出現する

殺虫剤の効かない昆虫が出現する

その他

その他：

- ・ 除草剤の多用による環境汚染。
- ・ 政治が入ってくるのが心配
- ・ 地球の気候が変わってしまうので、温暖化または寒冷化が発生し、遺伝子組換えの必要のないものも遺伝子組換えが必要となり、結果全てのものが遺伝子組換えを必要とするようになっていく。季節、地域などに無関係に植物栽培できるので、一見よくも見えるが更なる気候の変化（温暖化）などを引き起こせば陸地もなくなってしまふ。
- ・ 突然変化が起こることもある
- ・ とにかく不自然
- ・ 何となく悪そうだから
- ・ 農産物の改良の歴史も知らないが、牛の BSE 問題や誰が考えても悪いことはすぐ判断できると思えることに似ていると思うので。
- ・ まだ実用化されてからそれほど立っていないので、長期影響が分からない。
- ・ モンサント等の食品（農産物栽培技術）、食糧の独占、私的化

Q10: 現在、流通している遺伝子組換え食品は生産者にメリットがあるものがほとんどです。あなたは、このような遺伝子組換え食品を食べることに不安を感じますか。

Q10	不安を感じない	あまり不安を感じない	どちらともいえない	やや不安を感じる	不安を感じる	不明 無回答
人数 (人)	28	47	117	118	190	0
割合 (%)	6%	9%	23%	24%	38%	0%

Q11: Q10 で「不安を感じる」、「やや不安を感じる」と答えた方にお聞きします。あなたが不安を感じる理由は何ですか。(複数回答可)

Q11 回答者数: 308 名

Q11									
人数 (人)	238	143	122	94	33	24	16	15	8
割合 (%)	77%	46%	40%	31%	11%	8%	5%	5%	3%

安全性の確認が不十分だから

予期せぬ悪影響がきつとあると思うから

子孫への影響が心配されるから

安全と危険の情報が両方あり判断が付かないから

技術が難しすぎてよくわからないから

テレビや新聞などで危険だといっているから

消費者団体などが危険だといっているから

外国の企業が開発を進めているから

その他

その他:

- ・ 経済的視点のみで不自然なものばかりになるから。つまり本物が駆逐されるおそれがあるから。
- ・ 結果としてすぐ出るか次の世代に出るか分からないので。
- ・ 現状マイナス面が出ていない点が不安
- ・ 自然に逆らって作り出すことによって生態系が崩れる気がする。
- ・ 将来的な環境影響が分からない。
- ・ 食事(栄養面での)バランスが崩れる。
- ・ 種の特許として一部の会社が種を牛耳ることは、世界の食糧安心保障に悪い。

Q12：Q10で「不安を感じる」、「やや不安を感じる」と答えた方にお聞きします。どうすればあなたの不安は解消すると思いますか。（複数回答可）

Q12 回答者数：308 名

Q12						
人数 (人)	183	59	16	8	12	84
割合 (%)	59%	19%	5%	3%	4%	27%

安全性の確認が十分だと感じたら

10年くらい販売されて問題がなければ

テレビなどで安全であると報道されれば

自分の周りの人がふつうに食べていれば

その他

絶対に不安は解消しない

その他：

- ・1世代（30年以上）の経過観察が必要。
- ・30年後安全が100%であれば。
- ・安全性の確認が科学的な実証によるものであれば。
- ・一変に研究の成果をすぐに利用しないで、20年、30年くらい段階をおけばいいと思うが、政府とかどのように販売許可を出せばよいか分からない。
- ・遺伝子組換えを中止すべき。
- ・環境、生態系への影響がないと確認できること。
- ・環境等の影響が実証できれば
- ・きちんとしたデータが出てから
- ・食品でも、建材でも、薬品でも、後になって人体への影響が出ることばかりだから、長期間使用して安全であれば。
- ・マイナス面が分かれば
- ・レンジと同じ感覚

Q13：遺伝子組換え技術・農作物・食品は法律に基づき関係省庁が安全性を確認していることを知っていましたか。

Q13	知っていた	やや知っていた	どちらともいえない	あまり知らなかった	知らなかった	不明 無回答
人数 (人)	165	77	60	45	153	0
割合 (%)	33%	15%	12%	9%	31%	0%

Q14：植物油や醤油は、その原料に遺伝子組換え農作物を使用しても、遺伝子組換え食品であるという表示をする必要がないことを知っていましたか。

Q14	知っていた	やや知っていた	どちらともいえない	あまり知らなかった	知らなかった	不明 無回答
人数 (人)	94	27	31	38	309	1
割合 (%)	19%	5%	6%	8%	62%	0%

Q15：日本では遺伝子組換え農作物の商業栽培が行われていないことを知っていましたか。

Q15	知っていた	知らなかった	不明 無回答
人数 (人)	193	306	1
割合 (%)	39%	61%	0%

Q16：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報をどのくらいの頻度で得ていますか？

Q16	頻繁に得ている	やや頻繁に得ている	どちらともいえない	あまり得ていない	殆ど得ていない	不明 無回答
人数 (人)	24	71	168	93	144	0
割合 (%)	5%	14%	33%	19%	29%	0%

Q17：あなたが得ている遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報は否定的な情報が多いですか？肯定的な情報が多いですか？

Q17	肯定的な内容	やや肯定的な内容	どちらともいえない	やや否定的な内容	否定的な内容	不明 無回答
人数 (人)	16	35	233	117	98	1
割合 (%)	3%	7%	47%	23%	20%	0%

Q18：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報をどのようにして入手していますか。

Q18	テレビ	新聞	食品売り場	一般雑誌	インターネット	パンフレット・チラシ	展示会・見学会	その他
人数 (人)	314	313	124	77	75	53	43	22
割合 (%)	63%	63%	25%	15%	15%	11%	9%	4%

その他：職場 3、生協 3、大学 3、親、学校、口コミ、研究室、市場、商品、ラジオ、生産者や流通業者、製品のラベル、農業技術展等、農林水産省のメールニュース

Q19：現時点では科学的に安全とされる遺伝子組換え食品は、将来的にも安全だと思いますか、危険だと思いますか？

Q19	非常に危険だと思う	危険だと思う	どちらともいえない	安全だと思う	全(安全)だと思う	不明 無回答
人数 (人)	51	128	258	47	16	0
割合 (%)	10%	26%	52%	9%	3%	0%

Q20：国が安全であると認めている遺伝子組換え食品を食べることは安全だと思いますか、危険だと思いますか？

Q20	非常に危険だと思う	危険だと思う	どちらともいえない	安全だと思う	全(安全)だと思う	不明 無回答
人数 (人)	49	127	232	62	30	0
割合 (%)	10%	25%	47%	12%	6%	0%

Q21：国により安全性が確認されている遺伝子組換え食品のうち、虫が食べると死んでしま
う遺伝子組換え食品を食べることは安全だと思いますか、危険だと思いますか？

Q21	非常に危険だと思う	危険だと思う	どちらともいえない	安全だと思う	全々安全だと思う	不明 無回答
人数 (人)	242	133	103	14	8	0
割合 (%)	47%	27%	21%	3%	2%	0%

Q22：遺伝子組換え農作物を食べることによって、組み換えた遺伝子が体内に入り、体に害
を与える可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q22	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	113	161	170	33	22	1
割合 (%)	23%	32%	34%	7%	4%	0%

Q23：TVで「安全性については不明な点が多い」と言っていた遺伝子組換え食品を食べる
ことは不安に感じますか、不安に感じませんか？

Q23	非常に不安に感じる	不安に感じる	どちらともいえない	不安に感じない	全々不安に感じない	不明 無回答
人数 (人)	219	157	84	24	16	0
割合 (%)	44%	31%	17%	5%	3%	0%

Q24：TVで「安全だ」と言っている遺伝子組換え食品を食べることは不安に感じますか、
不安に感じませんか？

Q24	非常に不安に感じる	不安に感じる	どちらともいえない	不安に感じない	全々不安に感じない	不明 無回答
人数 (人)	115	157	156	55	17	0
割合 (%)	23%	31%	32%	11%	3%	0%

Q25：遺伝子組換え農作物は、自然交配によらず人為的に遺伝子を組み換えて作り出された
ものです。このような農作物を食べることは不安に感じますか、不安に感じませんか？

Q25	非常に不安に感じる	不安に感じる	どちらともいえない	不安に感じない	全々不安に感じない	不明 無回答
人数 (人)	135	187	120	36	21	1
割合 (%)	27%	38%	24%	7%	4%	0%

Q26：周りの身近な人がある遺伝子組換え食品を食べているとしたら、あなたはその遺伝子
組換え食品を食べることについて、不安を感じますか、不安に感じませんか？

Q26	非常に不安に感じる	不安に感じる	どちらともいえない	不安に感じない	全々不安に感じない	不明 無回答
人数 (人)	102	171	148	53	26	0
割合 (%)	20%	34%	30%	11%	5%	0%

Q27：外国では普通に食べられている遺伝子組換え食品を、あなたが食べることについて、不安に感じますか、不安に感じませんか？

Q27	非常に不安に感じる	不安に感じる	どちらともいえない	不安に感じない	全く不安に感じない	不明 無回答
人数 (人)	121	192	122	43	22	0
割合 (%)	24%	39%	24%	9%	4%	0%

Q28：普段食べている食品に遺伝子組換え農作物が、大量に混入してしまう可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q28	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	155	173	120	35	17	0
割合 (%)	31%	35%	24%	7%	3%	0%

Q29：油などの表示義務のない商品において、企業は遺伝子組換え食品を使っても表示しないことが多いと思いますか、少ないと思いますか？

Q29	非常に多い	多い	どちらともいえない	少ない	非常に少ない	不明 無回答
人数 (人)	165	139	142	35	19	0
割合 (%)	33%	28%	28%	7%	4%	0%

Q30：遺伝子組換え農作物の種を扱い企業が、種を独占的に支配する可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q30	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	160	140	159	28	13	0
割合 (%)	31%	28%	32%	6%	3%	0%

Q31：安全性が確認されていない遺伝子組換え農作物が、輸入の際に遺伝子組換えではない食品に混ざってしまう可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q31	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	217	170	82	21	10	0
割合 (%)	44%	34%	16%	4%	2%	0%

Q32：輸入時に遺伝子組換え農作物が混入したことを知っているのに、企業がその事実を隠して遺伝子組換えではない食品として販売する可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q32	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	214	171	86	18	11	0
割合 (%)	43%	34%	17%	4%	2%	0%

Q33：ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的にわかったときに、国がその情報を一切公表しない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q33	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	158	155	108	48	31	0
割合 (%)	31%	31%	22%	10%	6%	0%

Q34：ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的にわかったときに、開発した企業がその情報を一切公表しない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q34	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	186	156	100	41	17	0
割合 (%)	38%	31%	20%	8%	3%	0%

Q35：ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的にわかったときに、自分がその情報を入手できない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

Q35	可能性は非常に高い	可能性は高い	どちらともいえない	可能性は低い	可能性は非常に低い	不明 無回答
人数 (人)	168	151	127	36	17	1
割合 (%)	35%	30%	25%	7%	3%	0%

Q36：あなたは、遺伝子組換え農作物に関して自分が得られる情報量に満足していますか？

Q36	全く満足していない	満足していない	どちらともいえない	満足している	十分満足している	不明 無回答
人数 (人)	159	159	140	26	16	0
割合 (%)	32%	32%	28%	5%	3%	0%

Q37：日本で遺伝子組換え農作物を栽培することにより、日本の生態系に害を与えますか、害を与えないと思いますか？

Q37	重大な害を与える	害を与える	どちらともいえない	害を与えない	全く害を与えない	不明 無回答
人数 (人)	148	186	133	26	6	1
割合 (%)	30%	37%	27%	5%	1%	0%

Q38：輸入した遺伝子組換え農作物の種が、輸送中にしばしばこぼれ落ちるとしたら、日本の生態系に悪い影響を与えますか、悪い影響を与えないと思いますか？

Q38	非常に悪い影響を与える	悪い影響を与える	どちらともいえない	悪い影響を与えない	全く悪い影響を与えない	不明 無回答
人数 (人)	159	194	113	25	7	2
割合 (%)	32%	39%	23%	5%	1%	0%

Q39：近隣の住人が遺伝子組換え農作物を栽培したとき、その周辺環境の生態系に悪い影響を与え、悪い影響を与えないと思いますか、悪い影響を与えないと思いますか？

Q39	非常に悪い影響を与える	悪い影響を与える	どちらともいえない	悪い影響を与えない	全く悪い影響を与えない	不明 無回答
人数 (人)	125	178	155	33	8	1
割合 (%)	25%	35%	31%	7%	2%	0%

Q40：国が安全であると認めている遺伝子組換え食品を食べることは、不安に感じますか、不安に感じませんか？

Q40	非常に不安に感じる	不安に感じる	どちらともいえない	不安に感じない	全く不安に感じない	不明 無回答
人数 (人)	124	195	101	54	26	0
割合 (%)	25%	39%	20%	11%	5%	0%

F.S.1：性別

性別	男性	女性	不明 無回答
人数 (人)	248	252	0
割合 (%)	50%	50%	0%

F.S.2：年齢層

年齢	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上	不明 無回答
人数 (人)	101	99	97	103	100	0
割合 (%)	20%	20%	19%	21%	20%	0%

F.S.3：職業

職業	会社員	主婦・主婦	公務員	無職	パート	自営業	学生	農林水産業	研究者	その他
人数 (人)	188	116	57	45	39	25	19	9	2	19
割合 (%)	38%	23%	11%	9%	8%	5%	4%	2%	0%	4%

その他：団体職員 3、アルバイト 3、教育関係者 2、卸売市場勤務、嘱託職員、環境カウンセラー、年金生活者

遺伝子組換え技術・農作物・食品に関するアンケート

この度はアンケートにご協力いただきまことにありがとうございます。

当センターは、農林水産・食品分野で、新しい技術を利用した研究開発及び新しい事業の推進に協力することを目的に設立された公益法人です。

この度、農林水産省から委託を受けて、農業・食品分野における遺伝子組換え技術の利用について、一般の方々のご関心やご意見をおうかがいするアンケート調査を行うこととなりました。

このアンケート調査の目的は、広く一般の方々に、農業・食品分野における遺伝子組換え技術の利用に関してご意見などをお伺いし、今後の遺伝子組換え技術に関する研究を進める際の参考とさせていただくことにあります。ご回答はすべて統計的に処理した上で、とりまとめを行います。個々の回答内容や皆様方のお名前を公表することはありませんし、決してご迷惑をおかけすることはありません。

それでは以下の文章と注意事項を読んだうえでアンケートにご回答ください。

遺伝子組換え食品とは、収量の増加や病害虫・除草剤に強い性質を持つ遺伝子を取りだして、他の作物などに組み込み、新しい性質を持たせた農産物やその加工食品のことです。農薬散布の減少、収量増加、日持ちや食味・栄養の改良を目的として、1994年に初めて米国で商品化されました。2004年、遺伝子組換え農作物は全世界で8100万ha(日本の国土の約2.1倍)の農地で栽培されています。一方で遺伝子組換え食品について、研究・開発・実用化の段階においても、推進・反対の様々な意見があります。

<注意事項>

今回のアンケートは、最も該当すると思う欄()をチェック(✓)により選択する形式をとっています。個別の項目を聞いている設問もありますが、5段階であなたの気持ちの程度を聞いている設問もあります。5段階であなたの気持ちの程度を聞いている設問では、5段階で考えたとき、あなたが最も適当だと思う欄()にチェック(✓)を入れて下さい。



遺伝子組換え技術・農作物・食品に関するアンケート

以下の質問項目についてあなたが最も該当すると思う に✓(☑)をつけて下さい。

遺伝子組換え農作物に対する関心について

Q1：あなたは、「遺伝子組換え食品」という言葉を聞いたことがありますか。

聞いたことがある 聞いたことがない

Q2：あなたは、遺伝子組換え食品についてどのような印象を持っていますか。

良い印象 1 2 どちらともいえない 3 4 悪い印象 5

Q3：あなたは、遺伝子組換え技術について関心がありますか。

関心がある 1 2 どちらともいえない 3 4 関心がない 5

Q4：あなたは、遺伝子組換え農作物・食品について関心がありますか。

関心がある 1 2 どちらともいえない 3 4 関心がない 5

Q5：あなたは、遺伝子組換え技術は農業・食品分野にとって役立つ技術だと思いませんか。

役立つ 1 2 どちらともいえない 3 4 役立たない 5

Q6へ Q8へ Q7へ

Q6：Q5で「役立つ」(1及び2)と答えた方にお聞きします。どのようなことで遺伝子組換え技術が役立つと思いませんか。(複数回答可、回答後Q8へお進み下さい)

- 農作物が作りやすくなる 食品の価格が安くなる
- 開発途上国の食糧問題が解決できる 体によい農作物・食品が食べられる
- 砂漠などの不適環境でも作物が作れる 美味しい食品が食べられる
- 食糧自給率が上がる その他()
- (次頁Q8へお進み下さい)

Q7：Q5で「役立たない」(4及び5)と答えた方にお聞きします。役立たないと思う理由は何ですか。(複数回答可、回答後Q8へお進み下さい)

- 安全性に疑問がある 環境に悪影響がある
- 遺伝子組換え食品を食べたくない 遺伝子組換え技術を使う必要性を感じない
- 自然の摂理に反する その他()
- (次頁Q8へお進み下さい)



Q8：遺伝子組換え農作物を栽培することによって環境への悪影響があると思いますか。

悪影響がある		どちらともいえない		悪影響はない
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
Q9へ		Q10へ		

Q9：Q8で「悪影響がある」(1及び2)と答えた方にお聞きします。どのような悪影響があると思いますか。(複数回答可、回答後Q10へお進み下さい)

- 遺伝子組換え農作物と他の植物との交配により生態系が変化する
- 特定の昆虫や小さな生物などが死ぬことにより生態系が変化する
- 除草剤の効かない雑草が出現する
- 殺虫剤の効かない昆虫が出現する
- 予期せぬ悪影響がきっとある
- その他 ()

(Q10へお進み下さい)

Q10：現在、流通している遺伝子組換え食品は生産者にメリットがあるものがほとんどです。あなたは、このような遺伝子組換え食品を食べることに不安を感じますか。

不安を感じる		どちらともいえない		不安を感じない
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
Q11へ		Q13へ		

Q11：Q10で「不安を感じる」(1及び2)と答えた方にお聞きします。あなたが不安を感じる理由は何ですか。(複数回答可、回答後Q12へお進み下さい)

- 安全性の確認が不十分だから
- テレビや新聞などで危険だと言っているから
- 予期せぬ悪影響がきっとあると思うから
- 消費者団体などが危険だと言っているから
- 子孫への影響が心配されるから
- 外国の企業が開発を進めているから
- 技術が難しくよく分からないから
- その他 ()
- 安全と危険の情報が両方あり判断が付かないから

(Q12へお進み下さい)

Q12：Q10で「不安を感じる」(1及び2)と答えた方にお聞きします。どうすればあなたの不安は解消すると思いますか。(複数回答可、回答後Q13へお進み下さい)

- 絶対に不安は解消しない**
- 安全性の確認が十分だと感じたら
- 10年ぐらい販売されて問題がなければ
- テレビなどで安全であると報道されれば
- 自分の周りの人が普通に食べていれば
- その他 ()

(次頁Q13へお進み下さい)



45048

遺伝子組換えの制度・流通について

Q13：遺伝子組換え技術・農作物・食品は法律に基づき関係省庁が安全性を確認していることを知っていましたか。

知っていた 1 どちらともいえない 3 知らなかった 5
 2 4

Q14：植物油や醤油は、その原料に遺伝子組換え農作物を使用しているも、遺伝子組換え食品であるという表示をする必要がないことを知っていましたか。

知っていた 1 どちらともいえない 3 知らなかった 5
 2 4

Q15：日本では遺伝子組換え農作物の商業栽培が行われていないことを知っていましたか？

知っていた 知らなかった

遺伝子組換えに関する情報について

Q16：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報をどのくらいの頻度で得ていますか？

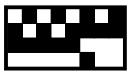
頻繁に得ている 1 どちらともいえない 3 殆ど得ていない 5
 2 4

Q17：あなたが得ている遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報は否定的な情報が多いですか？肯定的な情報が多いですか？

否定的な内容 1 どちらともいえない 3 肯定的な内容 5
 2 4

Q18：あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品に関する情報をどのようにして入手していますか。

- | | |
|--------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 新聞 | <input type="checkbox"/> インターネット |
| <input type="checkbox"/> テレビ | <input type="checkbox"/> パンフレット・ちらし |
| <input type="checkbox"/> 食品売り場 | <input type="checkbox"/> 講演会・セミナー・勉強会 |
| <input type="checkbox"/> 一般雑誌 | <input type="checkbox"/> その他 () |



遺伝子組換えに対するリスク認知について

Q19：現時点では科学的に安全とされている遺伝子組換え食品は、将来的にも安全だと思いますか、危険だと思いますか？

非常に危険だと思う 1 どちらともいえない 3 全く安全だと思う 5
 2 4

Q20：国が安全であると認めている遺伝子組換え食品を食べることは安全だと思いますか、危険だと思いますか？

非常に危険だと思う 1 どちらともいえない 3 全く安全だと思う 5
 2 4

Q21：国により安全性が確認されている遺伝子組換え食品のうち、虫が食べると死んでしまう遺伝子組換え食品を食べることは安全だと思いますか、危険だと思いますか？

非常に危険だと思う 1 どちらともいえない 3 全く安全だと思う 5
 2 4

Q22：遺伝子組換え農作物を食べることによって、組換えた遺伝子が体内に入り、体に害を与える可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q23：TVで「安全性については不明な点が多い」と言っていた遺伝子組換え食品を食べることは不安に感じますか、不安に感じませんか？

非常に不安に感じる 1 どちらともいえない 3 全く不安に感じない 5
 2 4

Q24：TVで「安全だ」と言っている遺伝子組換え食品を食べることは不安に感じますか、不安に感じませんか？

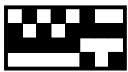
非常に不安に感じる 1 どちらともいえない 3 全く不安に感じない 5
 2 4

Q25：遺伝子組換え農作物は、自然交配によらず人為的に遺伝子を組み換えて作り出されたものです。このような農作物を食べることは不安に感じますか、不安に感じませんか？

非常に不安に感じる 1 どちらともいえない 3 全く不安に感じない 5
 2 4

Q26：周りの身近な人がある遺伝子組換え食品を食べているとしたら、あなたはその遺伝子組換え食品を食べることについて、不安に感じますか、不安に感じませんか？

非常に不安に感じる 1 どちらともいえない 3 全く不安に感じない 5
 2 4



Q27：外国では普通に食べられている遺伝子組換え食品を、あなたが食べることに、不安に感じますか、不安に感じませんか？

非常に不安に感じる 1 どちらともいえない 3 全く不安に感じない 5
 2 4

Q28：普段食べている食品に遺伝子組換え農作物が、大量に混入してしまう可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q29：油などの表示義務のない商品において、企業は遺伝子組換え食品を使っても表示しないことが多いと思いますか、少ないと思いますか？

非常に多い 1 どちらともいえない 3 非常に少ない 5
 2 4

Q30：遺伝子組換え農作物の種を扱う企業が、種を独占的に支配する可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q31：安全性が確認されていない遺伝子組換え農作物が、輸入の際に遺伝子組換えではない食品に混ざってしまう可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q32：輸入時に遺伝子組換え農作物が混入したことを知っているのに、企業がその事実を隠して遺伝子組換えではない食品として販売する可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q33：ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的に分かったときに、国がその情報を一切公表しない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q34：ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的に分かったときに、開発した企業がその情報を一切公表しない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q35：ある遺伝子組換え食品が、健康を害するおそれがあると科学的に分かったときに、自分がその情報を入手できない可能性は高いと思いますか、低いと思いますか？

可能性は非常に高い 1 どちらともいえない 3 可能性は非常に低い 5
 2 4

Q36：あなたは、遺伝子組換え農作物に関して、自分が得られる情報量に満足していますか？

十分満足している 1 どちらともいえない 3 全く満足していない 5
 2 4

Q37：日本で遺伝子組換え農作物を栽培することにより、日本の生態系に害を与えたいと思いますか、害を与えないと思いますか？

重大な害を与える 1 どちらともいえない 3 全く害を与えない 5
 2 4

Q38：輸入した遺伝子組換え農作物の種が、輸送中にしばしばこぼれ落ちるとしたら、日本の生態系に悪い影響を与えたいと思いますか、悪い影響を与えないと思いますか？

非常に悪い影響を与える 1 どちらともいえない 3 全く悪い影響を与えない 5
 2 4

Q39：近隣の住人が遺伝子組換え農作物を栽培したとき、その周辺環境の生態系に悪い影響を与えたいと思いますか、悪い影響を与えないと思いますか？

非常に悪い影響を与える 1 どちらともいえない 3 全く悪い影響を与えない 5
 2 4

Q40：国が安全だと認めている遺伝子組換え食品を食べることは、不安に感じますか、不安に感じませんか？

非常に不安に感じる 1 どちらともいえない 3 全く不安に感じない 5
 2 4

以下の質問に対して、差し支えない範囲でお答え下さい。

F.S.1：性別

男性 女性

F.S.2：年齢

20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳以上

F.S.3：職業

公務員 会社員 自営業 農林水産業 研究者

主婦・主夫 学生 パート 無職 その他 ()

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

遺伝子組換え技術・農作物・食品についての
意識調査報告書

(みんなで考えるバイオテック推進事業に関する委託事業)

平成 18 年 3 月

発行 社団法人農林水産先端技術産業振興センター

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル7階

TEL : 03-3586-8644

FAX : 03-3586-8277

URL : <http://web.staff.or.jp>